京城日報

五月六日夕刊（朝刊併せて八頁）

◇君德を御涵養

御著想の卓絶に皆嘆賞す

御學問所幹事 小笠原長生子謹話

東宮殿下の御學問所は去る大正三年四月高輪東宮御所内に設置せられたが東宮殿下に於かせられては素より畏れ多くも同所にて既に五箇年間

▼御修學遊ばされて本年四月よりは六年に御進み遊ばされた、而して滿七年即ち大正十年三月を以て文武に渡る特別の高等普通學を御修了あらせらるる御豫定であるが課程の内容は君德を御涵養遊ばさるると同時に萬機を知ろしめさるるの基礎を養すの御目的を以て文武に亘り御會得遊ばさるるを期し奉る次第である、又

▼御聰明に渡らせらるるは申上る迄もなき所であるが御熱心に御勉勵遊ばさるるを以て畏れながら諸學課共に能く御會得あらせられ御掛などより種々御質問申上ぐる際なども常に申分なき御答へを遊ばさるるので何れも感激し奉る所である（東京電局）

◇山東省問題 支那の騷擾

北京にも飛火＝我當局の派兵＝學生の示威運動 日本に對し侮辱的文辭を書す

兩三日前濟南に數萬の群集會合し山東問題に關し討議する所ありたり右は漸次天津にも感染し不穩の兆を呈しつゝあるが結局北京にも飛火するならん我當局は必要に應じ直に兵を天津より北京に派し公使館居留民保護の任に當るべしと（東京特電）

▽曹氏邸燒打　四日正午北京大學々生を始め一千の學生北京安定門に集合し『國賊曹汝霖、賣國奴陸宗輿、章宗祥山東を還せ』と書たる旗を押立て示威運動を爲し一部は巡警と衝突し後曹汝霖氏邸を襲ひ同邸を燒打せり曹氏は家に在らず無事なり（北京電報）

▽章宗祥重傷　曹汝霖氏邸は半燒となり襲撃せる學生等は章宗祥氏と共に閣議會の歸途襲撃を受け家族と共に負傷せり曹氏はグランドホテルに逃れたるが章宗祥氏は後頭部に重傷を負ひ佛國病院に入れり尚ほ陸宗輿氏邸は三百の巡警々戒し無事なり學生の押立てたる旗は日本に對し非常なる侮辱的文字を書き連ねたり（北京電報）

▽外電に誤らる　北京の騷動は學生等が最近巴里に於て支那の主張貫徹せざりし鬱憤と且つは日本が孤立に陷り英、米兩國は寧ろ支那に同情せり抔との外國電報に誤られたるものなれど一面最近排日熱を煽動する者あり今後の成行に就きては明言し難し（某消息通語・東京特電）

◇青島問題秘密會

斷然調印を拒絶せよ

北京衆議院は二日臨時動議に依り、青島問題秘密會を開き在巴里委員に電報を發し極力支那の主張貫徹を督勵するに決し、更に外務當局の說明を求めたるが當局は大體を報告し目下日支兩國間に於て力爭し居るも未解決なりと述べ次いで在巴里某委員より主張を貫徹する能はざる場合は如何と質問せるに梁啓超氏は某委員に宛て斯る場合は斷然調印を爲すべからずとの電報を發したり（北京電報）

◇法理論より主張

我委員の應戰準備 支那委員態度一變

支那委員は山東問題に就き法理論より支那の主張を貫徹せんとし列國委員中之に賛同するものあるを以て日本委員は佛文にて反駁書を起草し何時にても公表し得るやう準備し居りしが其の後支那の態度一變したるを以て遂に公表せられずして止みたり（巴里電報）

◇山東問題決議

國民外交協會＝日支條約不承認 主張不貫徹の際は委員撤退要求

國民外交協會にては三日夕會員三十餘名會合し山東問題に關して左の決議を爲したり（北京電報）

一、五月七日を期し中央公園に於て國民大會を開き同時に各省に打電し各地方に於ても國民大會を開かしむること

一、日支二十一箇條の條約及山東處分に關する日本と英佛伊との密約を承認せざること

一、若し巴里講和會議に於て支那の主張貫徹せざれば政府に向ひ支那委員の撤退を要求すること

一、英佛米各國公使に向ひ支那國民の意見を開陳すること

◇青島還附方法

日本は講和調印後正式に青島を領有し然る後支那と直接協商を開始し二個年後に於いて同地を支那に還附すべしと傳へらるゝも明確ならず（巴里電報）

◇支那委員抗議

五日朝の講和會議に於て豫備條約草案に就き討議ある筈なるが傳ふる所に依れば山東問題に對し非常に不滿を懷ける支那委員は同日の會議に於て再び强硬なる抗議を試むべしと（巴里電報）

◇伊首相妥協案

巴里來電＝伊太利首相オルランド氏は一の妥協案を携へて歸國したるが本國政府にして同意せば再び巴里に赴き之れを以て講和會議に臨む考へなりと一般に觀測されつゝあり（倫敦電報）

◇伊委員會議出席

伊國大使は發表して曰く『伊太利全權委員は講和會議に歸還するに決せり』と（巴里電報）

◇會議方法協議

講和會議は五月一日午後三時十分開會したるが當日は五分間にして散會したり獨逸全權委員は同會議に信任狀を提示し會議の第一方法に就き協議したり（巴里電報）

◇講和條約調印期

一般の觀測する所に依れば講和條約調印は六月一日ならんと（巴里電報）

◇羅王軍隊を率ゐて

匈牙利首都進入計畫

維也納よりの報道に依れば羅馬尼國王フェルヂナンドは軍隊を統率し匈牙利の首都ブダペストに進入せんとしつゝあり（巴里電報）

◇露貨千八百留

五日長春の露貨は千八百留を唱へ尚二千留を割らんとする處ありクレンスキー紙幣は長春にて全く通用せず但し哈爾賓は四割にて通用せりと（長春電報）

◎巴里會議正體

神と政治家

▲巴里會議に人種的差別撤廢案を持出たに就ては私は多少の異見を持て居る元來斯樣な問題を巴里會議などに持出す可きものなりや否やは大に考へものである之は私は其當初に於て既に言明した事である次に最近巴里會議に於て其主張が貫徹せない爲に同會議を脫退した伊太利の態度を見よなどと云ふ論調を以て日本の主張が同會議で成立不可能の場合には潔く同會議を脫退す可しなど絶叫して居る者が少くない樣であるが私は斯樣な言說を爲す人々に對して今少し其言議の上に慎重を加へて貰ひたいと思ふ者である

▲由來政治家なるものは多くの場合に嘘吐きである虛々實々の間を巧に通り拔けるのが手腕ある政治家とされて居るではないか少くとも神樣の目から見た政治家は立派な罪人ではないか殊にさう相場の極まつた政治家が巴里に集まつての會議である、總合其標榜する處が、正義であり人道であり、世界永遠の平和であるにしろ其實際が中々さう甘く行くもので無い事丈けは明かでは無いかされば初めからさう目覺しい最高理想の表現など期待し得可きものでは無いと云ふ事が分つて居て國際會議ではないか夫れを今更其主張が通らぬから脫退するなど云ふのは甚だ以て矛盾の感なき能はざるものである始めから勢力の爭ひであり力の競爭であるのだからドシドシ其主張を高調力說して得る可き利權を得たらよいではないか夫でも、愈々六づかしい場合には勇退するもよからう、高踏もよからう、要するに巴里會議を神樣の會合の樣に考へて立論は凡てに間違ひを生ずる所以である

▲ウイルソン氏を神樣の樣に推稱讃嘆措かなかつた姉崎嘲風博士の如き今日の英米に對して猶昔日の好感を以て居られるかどうか、また多數の輿論に於ても其始めには國際聯盟々々と云つて騷いで居たものが、今日は最う脫退を叫んで居る、こう操守の無い態度には呆然自失の外はない、凡て今少し慎重であらねばならぬ夫には初めから餘り四圍の空氣にのみ動かされて居る樣ではならぬのである（法學博士某談）

◎電報配達延滯

當局の怠慢＝その猛省を望む＝滑稽なる實例

京城郵便局の電報取扱に關しては少からぬ苦情が一般に唱へられてゐる殊に電報が既に局に著るてから受信人に配達するまでに二時間も三時間も甚だしきは四時間以上を要し電報の效力を滅却する事も珍らしくない現に本社著電に關する一二の例を擧ぐるも

▲四日下の關發　京城著信六七六號著時後四時十分—本社受取午後七時—經過時分二時間—

▲四日東京郵便發　京城著信七一二號著時午後五時—本社受取午後七時—經過時分二時間

▲五日東京郵便發　京城著信一二二號著時午後十時五十分—本社受取六日午前一時—經過時分二時間十分

かく二時間以上も郵便局に留め置かれ配達が著しく遲延するため本社の如きは屢々夕刊若くは朝刊の締切時間に間に合はず重要の問題にて遂に之れを紙上に掲載し得ず報道の任務に於て讀者に背く事は少なからぬのである電信線の故障假へば漏電のためとか電報大輻輳のためとか若しくば電信線不通のためとかで發信と著信の間に多くの時間を要する事は之れは

▲不可抗力として一事局員に怠慢の場合もあるにせよ止むを得ずとするも現に目と鼻の間にある本社と京城郵便局間に於て著信電報の配達に二時間以上を費す事珍らしからず一時間以上はザラにあると云ふに至つては吾人遞信郵便局電信係の怠慢を責めざるを得ぬ譯である、人手の不足電報の增加等郵便局に言はすれば多少の理屈はあらう、然し乍らそれが二日や三日の事であれば兎に角連日手不足を辭して補充の途に適當の方法を執らぬと云ふのは穩かであるまいと思ふ、所が半面には京城著局時刻より本社に著信の時間が早い事である最近の例を示せば

▲四日長春發　京城局著信九九八號時分午後十一時二十分—本社著午後十一時—早著二十分

▲四日東京郵便發　京城著信六一七號時分午後三時廿分—本社著午後三時十五分—早著五分

之れは郵便局の著信時間より本社の受取時間が早くなるのかこれは甚だ故に郵便局の著信時刻の方が十時であるのを十時四十分と故意に書き込み郵便局の經過時間を短く見せやうとするのではあるまいか、現に前記長春發電は十時廿分受信として其後一と云ふ字を書き込んだ事が明らかに見れるのである、要するに前者の經過時の短縮する事は經費の問題並に配達夫の員及び當局の注意によつて解決が出來るであらう、然も後者の局員問題は郵便局の怠慢を徹底せんとするものではないか一步進んでは通信機關の信用に關する問題ではあるまいか敢て當局の猛省を望む譯である

▲當局者の辯解　電報の局に著るてから後の經過時間が永すぎると云ふ苦情は段々聞くので常に當局者を戒めてる然し乍ら最近は佐世保大連線が不通となつたため內鮮間の電線を一本減じてその方に振向けてるから自然電報は遲延勝ちである從つて三時頃に東京や大阪を打つたのが十一時になり十二時になる事が珍しからずつまり晩くなつて電報が殺到して來る配達に困るそれから配達人の不足も困り切つてゐるこう云ふ補充しやうとしても希望者が少い從つて疲勞困憊して配達時間も遲れると云ふ事になる然しそれは內部の事であるから當局としては能ふ限り速に配達をなすやう更に戒飭する方針である尚ほ郵便局の著信時間より配達時間の方が早いと云ふやうな事はあり得べからざるわけである然しみるとすれば不都合と認める、旁當局に於て嚴に戒飭を加ふる事とせう

◇內幕史の一興味

英首相モンロー主義承認ウ氏英國の埃及保護權承認

英首相ロイドジョージ氏及ウイルソン氏との間に外交上の懸引あり遂に双方妥協し結局英首相はモンロー主義を承認しウイルソン氏は英國の埃及保護權を承認するに至れるが之れ今回の講和會議內幕史中の最も興味ある部分なり（倫敦電報）

◇人道の大義に則る

英紙日本の人種案に同情

デーリー、クロニクル紙は曰く日本の人種案は人道の大義に則れるものにて之を拒絶せんか人道に關する從來の聲言は全く無意義となるべし然るにも拘らず遂に否決の運命に遭へるは同情すべし又デーリーニュース紙は日本の要求は領土的の要求の如き不正にして且つ私利的のものに非ず國際聯盟にして無意義ならずとせば其規約中に之を挿入せよと力說せり（倫敦電報）

◎郵貯規則改正

郵便貯金規則中改正の件は七日總督府令を以て發布即日より施行さるべきが右改正の要旨は（一）從來通帳檢閱の際は原則として貯金現在高の證明を爲し來りたるも今後預入者の任意請求に依りてこれを爲すこと（二）規約貯金又は据置貯金に在りては各其特種取扱ひを廢するに至りし場合何れも通常通帳に轉記を受くる規定なりしも預入者の意思に依り何れに轉記を受くるも妨げなきことに改正されたるものなり

◎監獄分監名稱位置改正發布

總督府監獄及び分監名稱位置改正の件は七日府令を以て發布即日より施行さるべきが右は忠清南道大田に新に大田監獄を設置せむとするものにして同監獄は既に大正七年度に於て全然受刑者を使役して工事に移らんとする豫定の下に既に設置監獄の設置成れるを以て本年及明年度に於て約五百人の受刑者を他監より移送收容せむが爲め事務開始の要あるにより今回府令の改正を見たる次第なり

◎定例長官會議

六日午前十時より總督府第一會議室に於て定例長官會議を開き長谷川總督山縣政務總監始め各部局長官並所屬官署長參集諸般政務に就き協議する所ありたり

◎各銀行會社休業

明七日は皇太子殿下御成年式に付き市中各銀行並に主なる會社は何れも休業して祝意を表する由

◎軍司令官訪府

宇都宮軍司令官は六日午前九時總督府に山縣政務總監を訪問せり

◎松永長官視察

松永京畿道長官は騷擾後に於ける地方の狀況視察の爲め高見道技師、山內地方主任等を隨へ來る八日朝加平郡へ出張一泊の上歸任の筈

人事消息

▲大和田夫氏（上海英文每日新報北京特派員）六日朝釜山上陸十時急行にて北行（釜山特電）

▲小川延吉氏（鴨江日報主筆）六日著釜午前十一時鮮滿直通列車にて北行（釜山特電）

▲三島殖銀頭取　櫻井理事同道六日下仁支店開設披露宴を張れり

▲片山繁雄氏（鮮銀理事）六日午前十時南大門驛發列車にて東上

八面鋒

◇山東問題が、我主張通り貫徹したりとて、國民は決して安心すべからざる也。山東問題の斯く解決したるは、當然の條理にして、何の怪しむ處もなし。唯吾人の氣骨が、不當然なる不條理の爲に退け折りたるは、此の當然なる條理の爲られんとしたる也。吾人前途を望めば、尙更に重且大なる諸問題の橫はるあり、其に一々氣骨を折らざる可からずとすれば、日本國民程氣苦勞の多きは稀なるべし。

◇國家は如何にして、國民に安全を與へんとするか、之れ當然起らざるべからざる國民の叫び也。乞ふ言はん、國家が國民に安全を與へんと欲し、國民が國家に安全を請要せんとせば、國家の實力發成にあり、國民の精力修養に存す、此の二者を缺いで、徒らに安全を叫ぶも、之れ眞の安全を享くるの途に非ざる也。

◇英國の一補缺選擧も、舊アスクイス派の勝利に歸したり、之れロイド、ジョージ內閣の影が、日に薄らぎ行くを語るものに非ずして何ぞや。渡歐當時に於て、ヴェルサイユに雄然と其の姿を現はしたるウイルソン君は、宛然御光に圍まれたる救世主の如く、人々より瞻仰せられたり、然るに今日にては如何。佛國を提供すと迄、佛人より信賴せられたるクレマンソー君が、賠償金問題に對し、英、米と利害に於て、至大の距離に逢著せり、佛人は依然として佛國をクレマンソー君の思ひのまゝに提供せんとするか。斯く觀じ來らば次に來るべきは、必ずや各國々內の動搖たらずんば非ず。

◇吾人はウイルソン君を惡んで、米國を惡まずとは伊太利人の叫びなり、之れ伊太利の巧妙なる外交を發揮せしものに非ずして何ぞや。外交の巧妙は、米國が賠償金を要せざる事に依つて、世界第一の資本國となり、財力を以て他を屈服せんとし、英國は巧に獨領殖民地の殆んど全部を占有して、僅に戰費と相殺して餘あり、佛國は償金を得ざる事に依つて、忽ち經濟的敗者の運命に陷らんとす、日本果して如何。

奉祝御成年式　安東縣財神廟街　大連汽船株式會社安東縣出張所　日電二一二番　支那電一五一番

奉祝御成年式　仁川港　大阪商船株式會社仁川支店　電話長二五一番　一〇〇〇番

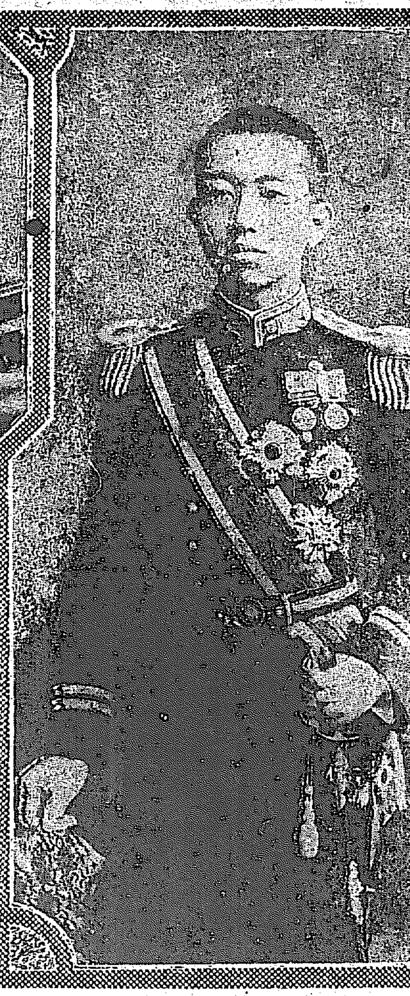
奉祝御成年式　京城義州通一丁目　朝鮮煙草株式會社　電話一八七番　一三七〇番　二四四九番

奉祝御成年式　京城南大門通二丁目　土佐紙株式會社京城支店　電長三一二　五二三　七〇番

奉祝御成年式　淺野セメント株式會社京城出張所　京城黃金町　長電話六六二番　淺野スレート株式會社京城出張所

奉祝御成年式　京城明治町貳丁目　京城魚市場　電話長一四七八番

奉祝御成年式
株式會社第一銀行京城支店　京城府本町二丁目八十九番地　電話長一一一番　六二一番　一七番
株式會社百三十銀行京城支店　京城府本町一丁目四十一番地　電話長五八番　一九四番
株式會社十八銀行京城支店　京城府黃金町二丁目三番地　電話長四二〇番　五八〇番
株式會社京城銀行　京城府本町二丁目五十一番地　電話長四三二番　一三八番　五番
株式會社朝鮮商業銀行　京城府南大門通一丁目十九番地　電話長六八番　五五八番　二〇一番
株式會社韓一銀行　京城府南大門通一丁目四番地　電話長一八九五番　六四三番
株式會社漢城銀行　京城府南大門通一丁目十四番地　電話長六〇一一（回線數 內長距離加入三）



○御盛典を擧げ給ふ日嗣の宮殿下

仰ぎ奉る御高德のかずく

竹の園生の御榮は 芽出度くも目出度し

九重の紫雲棚引く千代田の宮居に於かせられては常磐の松の色增して彌榮わに榮わよし明七日愈々日嗣ぎの御子と仰がれ給ふ裕仁親王殿下御成年の御儀を行はせらる此の芽出度くもいと芽出度き佳辰に當り漏れ承はるが儘に殿下の尊き御日常の事どもを掲げ奉りて其の御高德の程を仰ぎ奉らん

御成人の御狀 拜するが如し

寫眞說明

最右端は海軍大尉の御正裝は東宮殿下が御成年式の爲特に御撮影遊ばされし者其下は往年伊豆に行啓あらせられし際の御英姿、其他は何れも御幼少時代の御寫眞にして左より御四歳の殿下、學習院御入學當時の殿下、御十三歳の殿下なりとす 御成人の御有樣を拜するがごとく最近の御英姿と相對照して拜するとき感慨一しほ深きを覺ゆ

規則正しき御起居

敬心尊祖の御心厚く 每朝宮城を御禮拜

東宮主事 戸田氏家氏謹話

皇太子裕仁親王殿下には本年四月を以て滿十八歳とならせられ御成年に達し給ふたのであるが殿下には去る大正元年七月三十日今上陛下の御踐祚に依つて

皇太子と ならせられ同時に陸海軍の武職に就かせられ現に陸軍に於ては歩兵大尉として近衛歩兵第一聯隊附又海軍に於ては海軍大尉として第一艦隊司令部附

御尊體 御勇健に亘らせらる

御丈五尺四寸 御體重十五貫に近し

東宮殿下には御年齢と共に益々御勇健に亘らせられ御丈は五尺四寸を越ね御筋骨頗る逞しく御體量も亦十五貫に近くおはします由誠に有難き極みこそ申すべけれ申すも畏れ多き事乍ら殿下には大奢いと御聰明にて敬神崇祖の御心厚く又御孝道、御友悌の御心も深く在しまし、臣下に對しても頗る

御仁慈に 亘らせらるゝ事は側近くに奉仕してゐる者の常に感激し奉てゐる處である事物に對する御研究心深く御觀察の精緻に、御理解力の明晰にわたらせ給ふ等も一同の齊しく御嘆賞申し上ぐる處である殿下には毎朝早天に御起床遊ばされ嗽手水に御身體を御清淨遊ばされし後遙かに伊勢大神宮並に 兩陛下在します

宮城の方 に向つて御禮拜あり、斯して一日の行事に取かゝらせ給ふのであるが日曜日又は大祭日を除くの外は定刻より東宮御所内に於ける御學問所に御通學の上專心御勉強遊ばされ御退出の後は御自習及び御運動規律的の御日課を行はせられ夕刻よりは

御心裕に 諸般の御讀書等を御覽あらせらるゝか又は御談話御遊戯等を遊ばさるゝのである冬期の御轉地に際しても御用邸で一定の學課を修め給ふ外は御運動御登山等に御身心の鍛錬に努めさせ給ひ又夏季に於ける御轉地中にも學課の御自修及び武課殊に體操游泳等は毎日必ず行はせ給ふのみならず、

各地方に 行啓あらせられた際は山陵及び神社等に御參拜あらせられ又は親しく文武の實地見學を行はせ給ふと同時に一般の民情風俗をみそなはし給ふのである

軍事に御精勵

明確なる御作戰 專門の將校も舌を卷く

東宮武官長陸軍少將 小川賢之助氏謹話

東宮殿下には御性剛毅英敏にましませば擊劍銃劍術射擊其他の御武課もいと優れさせ給ひ過般來沼津に御轉地あらせられし際など御愛馬に召され御中食の折と其他一寸御休憩あらせらるゝのみにて

八里以上 の道を只一氣に驅けさせ給ひ而も聊かの御疲勞の色さへなく其御雄々しき御有樣にはほと〳〵恐れ入り奉るのみであつた又軍事に於かせられても天資御聰明に在ます上に能く御研究を積ませられつゝあるので演習等より御歸廊あらせられし後御下問遊ばさるゝ事は甚だ緻密にして而も急所を衝かせらるゝのである海軍の事は兵機を以て

戰略を定 めさせ給ふが其の明確なる御作戰の程等總て專門の將校をして舌を捲かしめ給ふ事は再三ならぬのである目下侍從及び陸軍大學校長宇垣少將等交々軍事に就ては海軍少將安保男爵等交々出仕なし講義を申上げてゐる又近

參謀本部の情報にて

西比利出軍事の御研究

參謀本部第九課長陸軍大佐 渡邊壽氏謹話

府の一聯隊よりお召により十數名の兵を差し出し殿下には

分隊教練 小隊教練の形式を御し其動作及び指揮法等に就て深く御研究あらせられてゐるが時折には近衛隊に行啓あり實地御見學がある

東宮殿下には愈々二九の御齡に達せられ本日其の御成年の御儀を行はせらる拜誦祝福の誠意を表し奉るのであるが予は一昨年來殿下の御所附武官たる近衛步兵第一聯隊長の職に在つた爲めに幸にして殿下の

御英姿に 接し奉るの光榮に浴し特に屢親し奉るの念深きものがある然し時恰も國家多難の折からでもあり殊に殿下にも沼津の御別邸へ御出御の事であつた爲めに聯隊に行啓を仰ぐ機會も殆ど此の目出度く目出度き佳辰に際して殿下に咫し奉る追懷の感想を語る由なきを自ら憾むのみである然し乍ら昨年の櫻花既に散りて葉櫻の五月の頃に

皇后陛下 の行啓を聯隊に賜ふうした事がある其折には殿下にも聯隊に御出御あらせられ他の御附將校と共に親しく陛下を御迎へ遊ばされたがかくの如きは曾て例なき事であるだけに教育に深く御心を配らせられる事有難き次第であつた又殿下の軍隊は實に恐れ多い次第であつて每月一二回我が聯隊より

十五六名 の兵卒に將校を附し東宮御學問所に差し出し是等の兵卒に就いて初年兵教練の有樣を熟心に御視察あらせられ御研究を積ませらるゝとの事である只今の處は未だ斯してか又は軍書に依て軍事の御研究を遊ばされてゐるがこれより先き昨年の秋よりして

參謀本部 の情報等に依つて御研究を積ませらるゝ事こそ承はるが或は今年よりして其の實地御教練を拜するかも知れない然し昨年の末よりして予は現職に轉じたる爲め殿下の御英姿に接し奉るの機を失し深く遺憾とする所である

御所の筍

兩陛下へ獻上 御手づから採り給ひ

東宮殿下には御孝心いと篤く在します每年御所の御庭に筍の出づるを見ては人手を借させ給はず御手づから是れを採り給ひて兩陛下に獻上あらせらるゝを此の上なき御樂みと遊ばされてゐる御同胞の宮殿下と御仲もいと睦まじく亘らせ給ひ御弟の宮の在します皇子御殿へも度々行啓あり御轉地の際にもいと和やかなる御情の程を御文に認めさせ給ひて御弟宮に送らせらるゝなどいと麗しく是等の御有樣は拜するものをして嘆賞せしめ給ふのである

皇孫時代 偲び奉る

机の御掃除 御手づから 仄暗き中に御目醒

東宮裕仁親王殿下の未だ皇孫殿下に在しましたる時代の御有樣を漏れ承はるに畏くも殿下には其の御當時より朝御起床あらせらるゝには

寒風骨を 刺す冬期と雖もまだ薄暗き六時より七時にかけて御起床あらせられ炎熱燬くが如き夏季の候には朝風肌に爽かなる五時半に御起床あらせられ先づ御手水御含嗽に御身を淨めさせ給ひ 兩陛下及び皇太后陛下（今の皇后陛下）の在します方に向つて御遙拜あらせられそれより御外庭にて一時間餘りの御運動を遊ばされ侍醫の拜診を受けさせ給ひて後御朝餐の卓に向はせらる御朝餐を終らせ給へば

御弟の宮 御兩人と共に御座所の御机に向はせられ小さき御手に布巾を取らせ給ひていと賢くも抽斗も無き白木造りの御机を人手も借らず御拭ひあらせられ御机は常に美しく光輝を放ち御側近の人々をして驚嘆せしめられてゐたそれより學習院に御通學あらせられたのであるが御性聰明に在しまし殊に御孝道厚く御友情深く亘らせ給ひ

御學問に は專一御心を注がせ給ひ御課業の後には御弟宮に御遊戯の事を御教導あらせられ御睦まじく過ごさせ給ふ而して若し御庭内に於ける坂路に至らせ給へば御幼少の御弟宮の御手を取らせ給ひて御援けあらせらるゝ等ひしと承はるだもいと尊き極みである（東京支局）

◎第二師團續々凱旋す

十一日の最終部隊は 朝鮮を經由

第三師團の將校八十二名兵七千二百二十名は五日より十一日迄に大連經由凱旋の途に上りつゝあり其中十一日の最終凱旋部隊のみは朝鮮を經由し馬五百七頭の中百七頭は龍山に殘す筈なりと（長春特電）

成年式を控へて 乳人繁子女史

追懷の感激に滿ちて語る 陛下より不意の御言葉 東宮「ちげ、ちげ」と仰す

皇太子殿下御成年式の御芽出度き日も愈々近づいた殿下御誕生の當時始めてお乳參らせし乳人矢崎繁子女史は往時を追懷して謹んで語る「畏れ多いことながら私は亡夫小林の二七日が濟むか濟まぬに五十九人目に選まれて高輪御殿に伺候しました何時も御座所の次室まで進み白の羽二重の御衣の上に赤いおでんちを召された殿下を

お抱き參らせ て乳房を御含ませ申したのですが其氣高い御姿ながらの御姿を拜しては唯もう畏さに胸も迫りました『しげ、氣を安くして勤めよ』など、お父君殿下（陛下）が不意に出御あつて御說を賜つた時など恐懼して言葉も出ません 一同私一同で別に牛乳も差上げてゐたのですが日の經つにつれて

私の乳の回數 が增して殿下にも餘程お馴れ遊ばしました唯もう日夜よい乳の出るやうにと胸に祈つてばかりゐました翌年三月迄の奉仕中には日光御避寒にも供奉し白い御洋服の殿下をお抱き申して庭を散歩いたしたことなど何時かお父君陛下の御目にとまつて『散歩の時はむづかりはしなかつたか』と御尋ねを受けたりしましたお暇戴いた後も御誕生日每に參殿し年每に

御生長遊ばす 御姿を拜して感涙に咽んだりしました漸くお片言を仰せらるゝやうになつてからは『ちげ、ちげ』とお呼びかけになつてお懷き下さいました一昨々年の立太子式に參殿して一層御成人遊ばされた氣高い御姿を拜して參つたのは此間と許り思つてゐますのに早や御成年式を行はせられる如になりましたのは夢かと許りに御嬉しく思はれます」（東京）

○懸賞附の探し船

[illegible]百噸）は三月二十九日肥前國唐津港にて石炭千六百噸を積取り船長三嶋林二氏以下三十六名乘組四日佐世保に向け[illegible]急航せし[illegible]一方横濱市役所當局にて[illegible]發見者には金千圓、生存船員發見者には五十圓、屍體發見者には二十圓の懸賞を附し捜索方を依[illegible]

◇乳ケ崎沖 合三運の地 [illegible]

之とても何等確信すべきなき根據[illegible]

◇船乘組員 [illegible]

△機關長河野[illegible]三郎▽一等機關士佐木[illegible]▽[illegible]以下二十九名合計三十六名[illegible]

◎連絡船上の旅客 五日[illegible]

◎蒙古王

五日來朝 病氣療養の爲

蒙古十郡王[illegible]王子及び二王[illegible]を伴ない川島浪速氏と共に[illegible]にて五日午前十一時門司に着[illegible]王は數年來急性肺炎に罹り腹水病[illegible]の爲根本的に治療すべく京都[illegible]大學病院に入院の筈なりと（門司電報）

◎府の奉祝式

府民の拜賀を許す

京城府に於ては七日午前九時より府廳樓上に於て奉祝式を擧行すべく一般府民は午前九時三十分より同十時三十分の間に於て隨意拜賀を許さるべし服裝は『フロックコート』若くは羽織袴とし朝鮮人にありては相當敬意を缺かざる服裝にて差支なしと

◎學校の奉祝式

午前九時より舉行

市内各學校は七日午前九時より左記の次第により奉祝式を擧ぐる筈なり君が代の合唱△職員生徒は天皇陛下、皇后陛下、皇太子殿下の御影に對し奉り最敬禮を行ふ△學校長は教育勅語奉讀後成年式に關する訓話をなす△職員生徒は奉祝唱歌を合唱す

◎慶北の山火事

一千四百町歩燒失

去月廿七日午後十一時慶北奉化郡春陽面金成洞並に道心里の國有林より發火したるより同地憲兵分遣所より所員出張洞民を指揮して防火に努めたるも北風烈しき爲め消防意の如くならず何時鎭火するや測られざりしが幸ひにも其後大降雨あり廿九日午後九時卅分三千四百町歩を燒失したる後漸く鎭火したり損害は三千五百圓の見込みなるが發火原因は目下調査中（大邱）

◎女のペテン師

安東縣

市場通六丁目松屋旅館に投宿中の今井はつ（三）は昨年十二月頃大連美濃町紹介業富田安三郎の紹介に依り一千六百圓にて藝妓稼業をなす事となりたるも親の承諾書必要なりとて藝妓稼業をなさず終に一千六百圓を騙取し情夫たる興行師石田某と手に手を取つて行方を晦ましたるが最近に至り前記旅館に潜伏せる事發覺し大連へ引き戻さる

◎山門上棟式

長沙洞妙心寺別院にては鍐に御大典記念御堂の落成を告けたるが今回更に前記溪川畔に宏大なる山門を建立する

ことゝなり五日午後四時より上棟式を擧行したるが小原慶尚北道長官、大村商議會頭其他の居士參會せり尚同門は朝鮮建築法に則りたるものにて古色蒼然たる赤塗門とする計畫の由なれば記念御堂と併せて京城の一名物たるべし

ロ廷丁給仕等與[illegible]

[illegible]院にては十八歳以上四十歳[illegible]廷丁及び給仕若干名を[illegible]に付希望者[illegible]申出づべしと

奉祝御成年式 仁川宮町 米穀肥料商 松本要五郎 電話長八一五番

奉祝 京城太平通二丁目 常盤商會 朝鮮營業所 電話長五七六番

奉祝御成年式 仁川 小倉病院 電話四〇二

奉祝 龍山水産株式會社

奉祝御成年式 壬生一夫

奉祝御成年式 鴨江商會 鴨綠江解船組合 安東縣江岸通三丁目 電話一一〇

奉祝御成年式 仁川 佐治為敬 神谷榮一郎

奉祝御成年式 安東縣江岸通四丁目 材木商 川崎商會 電話一〇九番

奉祝御成年式 仁川新町 井上病院 電話一五六番

奉祝御成年式 安東縣四番通り三丁目 小川鑛業所 小川光藏

奉祝御成年式 仁川宮町 米穀商貿易 鳥居商行 電話長三四番 長六三六番

奉祝 京城府漢江通十三番地 寶榮商會 同 用達部 電話一〇七番

奉祝御成年式 大邱市場北通 大油精米所 電話四一七

奉祝御成年式 大邱八雲町 醬油商 磯具商店 電話四一五番

奉祝御成年式 大邱倉庫金融株式會社 電話一六四番

奉祝御成年式 大邱元町二丁目 米穀雑穀移出入 伊勢一商店 電話五四三番

奉祝御成年式 大邱市場北通 輸出入商 太弓商店 電話長一六七番

奉祝御成年式 大邱錦町一丁目 穀物貿易商 光成友三商店 電話長七六〇番

奉祝御成年式 大邱元町三丁目 伊藤吳服店 電話一五七番

奉祝御成年式 大邱大和町 醫學士 吉村剛 電話一五九

奉祝御成年式 京釜線金泉 鮮南銀行金泉支店

奉祝御成年式 慶山驛 鮮南殖産株式會社 鮮南物産商會 電話一六〇

奉祝御成年式 大邱魚菜株式會社 電話長二四七

京城地方 [illegible] 曇但少雨

[illegible]

第一版

辯慶丸の運命
◇捜索船を各方面に

滿洲遠通　(十八)

何れ劣らぬ壯烈

一貫生

十一月二十六日の戰鬪の結果は兩軍共非常の損害を被つて、露軍は日本軍の突入を喰ひ止めたもの、翌二十七日の日本軍からの砲撃には、交通路を根本的に破壞せられ、堡壘内相互の交通は全然杜絕して仕舞つたのであつた、其れ其の筈である、同日の午前十一時から日本の攻城砲兵は大活動を始め、諸砲臺に制壓射撃を繼續して一方破壞滿の陣地にあつて猛勢を有する我二十八糎榴彈砲は、爾靈山に向つて防禦破壞の猛射を浴びせたからである、而して午後六時から突撃して來た日本軍は逆襲して撃退されたが、此戰ひに於ける日本軍は非常な損害を被つた、日本軍の猛烈な突撃が愈々甚だしくなつたので、イルマン少將は砲兵、機關砲小隊を、内兵に陣地變換を命じ、翌二十八日の午前三時に至る迄に、五時迄に陣地を占領し、天明から日本軍の前進し來る者を射撃した、午前八時四十分日本軍は肉薄して來たけれど皆撃退せられた、此の日本突撃隊は香月中佐の指揮する一隊であつて、一時頂上に達したけれど陣笠山より側射砲火を浴びて、七十餘名中僅に四、五名の生存者を出した程の苦戰をした、十二時頃から日本軍の砲兵を補充したけれど、午後三時頃には官壁掩蔽部は悉く破壞せられて、死傷者の運搬をもする事が出來なくなつた、午後四時半頃から密集した日本軍が前進して來たので、スタンプネウスキー大尉は增援隊を哀願して漸く一箇中隊を得たのであつた、當時イルマン少將はステツセテルに總豫備として僅に海兵の半中隊を餘すのみ、悲觀的報告を送つて居る、此の時總司令官コンドラチエンコ將軍も抑衷した、爾靈山の形勢は刻一刻危機に瀕し、東北頂の角面堡は遂に日本軍の枝吉少佐に占領せられた、司令官トレチヤコーフ少將(少將に昇進)は增援の三個中隊を提げて逆襲したけれど不成功に歸して仕舞つた、で少將は自ら陣頭に立つて勇敢な逆襲を敢行して漸く日本軍を撃退して頂上を恢復する事が出來た、此時の日本軍は馬場少將の指揮する一個大隊と五個中隊であつて、聯隊長代理枝吉少佐が自ら突撃隊を指揮して奮戰した時であつて、同少佐及び副官山崎大尉以下悉く戰死し、生存者僅に十五六名を除さなかつた、惨烈極まる戰鬪で、兩軍孰も必死の決戰であつた、二十九日にも日本

◎忠南舒川にて内鮮人融和の懇談會開かる(公州)

忠南舒川郡に於ては曩に韓山面新里に於て騷擾ありしが郡守及び庶務主任等の訓戒に依り死傷者を出さずして落着し一般民は郡守の行動を德とせるが去る廿七日郡に於て郡内有力者六十餘名を招待し懇談會を開催し道よりは井上第二部長出席し騷擾事件に關し政府の採りたる方針措置等に付詳細說述し次に憲兵分隊長、警察署長よりも講演を爲し次に意見の交換に移りしが半ばにして郡内に於ける名望家趙來彥氏は演壇に立ち無智の人民が恰も赤子の井に陷らむとするを顧みざると等しく先覺者として輕擧妄動を戒め騷擾者の言を輕信し之に附和雷同し危禍を招くを傍觀するが如きは能はざる所なりと述べ左の誓約を爲さむことを提議し滿場一致之に贊印せり而して懇談會の開催は時宜に適したる措置にして此の場合官民一致の下に内鮮人の融和を期せむことを希望し尚此機會に於て各面内に於ても同樣懇談會を開催し極力内鮮人間の融和に力めたきを語らひ一同和氣靄々の裡に散會せりと云ふ誓約書左の如し

下名等は本回の騷擾は同胞を危險地に誘導すべきものと認め決して不穩を希望せず左記諸件を實行して各其の自覺を圖らむことを堅く誓約し茲に署名捺印す

(一)舒川郡地主會に對する郡守の警告は下名等に於ても之を實行すべきは勿論他ハ地主を懲戒し共に其の結束を堅固にせしめ將來如何なる脅迫に逢ふも斷じて之を排除すること

(二)新鄕里に於ける學堂は不逞ざる所なるも目下の狀態は關せ衆の行爲にして下名等は一致協同し警官署破壞の行爲は許すべからず依て下名等は一致協同し其の復舊費の寄附を周旋し其採納方を請願すること

(三)本年普通學校新入學生は例年に比し鮮少の傾向ありと聞く此の際父兄を說示し速かに入學せしむるに努力すること

(四)專ら騷擾の豫防に努力し若し不穩の行爲を敢てする者を發見したるときは警察官憲に密告すること尚郷黨中現に不穩文書又は脅迫狀等を所持するものは此際直ちに警察官憲に提出せしむること

(五)今回の騷擾に依り内鮮人間に多少の隔意を生じたる事實あるは遺憾なり依て此際從來より一層其融和を圖る爲適當の方法を講究すること

(六)前各項ハ外騷擾を戒め將來は斷然如斯騷擾に參加せざるは勿論從來よりも一層官公署の指示命令を遵守し各其家業を勵み不良の徒と與せざるとし大日本帝國の良民として其耻ざらむことに努め十六統内に一名の責任者を定め其區長をして誓約徵印せしむると

◎有望なる滿洲の水田經營(下)

想像も及ばぬ地積

青野組光滿株式會社支配人談

然れども旱天打續くに於ては吳家堡の方は決して危險はないが公太堡の方は溝の下流に屬するので若干旱害を受けぬとも限られないが兎に角に鮮人の移住し來る數は實に夥しいもので毎日三十人や五十人はやつて來る模樣である、殊に遼河下流域に向つて彼等の發展せる狀態は素晴らしいものであるが其の途は一帶に水害區域になつてるので是非共是れを除去する樣な方法が講じたいものである、大地は我六反歩で畑が四十圓乃至六十圓

水田が百圓で買る

乃で此の邊の地價は支那人の畑にすると一天地が四十圓から六十圓位であるが水田にすると一躍一百圓を下らない狀態であるから支那人側も大いに水田經營に努めて居るのであるけれども矢張り其の能力は到底鮮人には及ばないと見らて水田に轉換する作業は全く鮮人の手によつてなされるのである、最後に發表したいのは是等移住し來る

鮮人の救濟方法

である、即ち移住鮮人は普通十二月から翌年一二三月にやつて來るので而も著のみ著のまゝであるから落付くが早いか其の日の食料に追はれるのが普通である、其食料は多く何であるかと云ふと粟であるが其粟を支那人から借て毎月一料費に振り當てたならば

殘る所は僅少なる

ものとなるのである、其事柄が毎年々々繰返さるゝから何年を經てもウダツの上る事はないから自然不正を行ひ兩者の圓滿を缺ぐ事になるのは已むを得ない事とは云へ殘念な事である、故に此食料を尤も安価に供給し得る方法を講ずるのが最大急務であると共にそれが實行出來れば鮮人の富も增進し從つて不正行爲は自然に行はれない事となり再際して

鮮支人間の圓滿

は期して待つべく、さすれば滿洲の水田開拓は非常の勢ひを以て進展して來る事と思ふ兎に角に最早滿洲の水田なるものは議論の時機懷疑の期は經過して實行の時代に入つてるのである(渤天)

◎酒造組合新設

釜山の酒造業者

釜山府に於ける酒造業者は大正元年率先して釜山酒造組合なる名稱の下に個人的の團體を組織し爾來釀法模技の改善及び酒質の向上發達を企圖しつゝありしが幸ひに其効空しからず酒の品質は素より造石高等も朝鮮中に於ける主產物たるに耻ぢざる面目を保ち内鮮各地に開催せられたる共進會或は品評會等に出陳して授賞せられたるもの尠からず又仲買業者及び一般の賞讚を得るに至りし此際之を法人組織となし鞏固なる基礎を形成すべき必要を生じ今回同業組合令に基づき組合を設置する事となれり其主要なる組合業務は(一)釀造方法の改良獎勵(二)講習會、講話會、研酒會及び品評會の開催(三)酒類販賣價格の決定(四)酒類取引方法の改善(五)原料材料及び製品の賣買の媒介(六)酒類に關する調査は研究其他の組合の目的を達するに必要なる業務の經營を爲す筈にして必要に應じては低利資金の供給に使つ場合あるべく本年度に於ては同經營費として五百三十圓を計上せるが全部組合の負擔に屬するものにして事業の主なるものは講話會費、酒類製品評會費、販路調查費、酒造米試作委託費等なりと(釜山)

農信

麥作狀況(慶北)

本年は冬季の寒氣例年に比し比較的溫和なりしため麥の越冬狀況例年に比して頗る良好にあり豐收を豫想しつゝありしに三四月中麥の生育の盛季に於て非常に雨量少く今之を既往五年前よりの同時期の雨量と對比すれば大正三年の百五十一粍六、同四年の九十一粍九、同五年の百七十三粍一、同六年の九十六粍、同七年の百二十九粍七、本年は七十三粍にあり最も雨量少く爲めに越冬狀況良好なりしに比し目下の生育狀況は幾分不良の嫌ひあり爲めに狡猾なる商人は滿洲粟の移入を試み米價の昂騰を夢見られつゝあるの模樣である然れ共今某專門家の說を聞くに以上記せる如く麥作生育狀況は必ずしも樂觀を許さゞるも幸ひ本月一二三の三日に亘り七粍八の降雨量を見不充分ながら幾分麥の生育を恢復するを得たり尚天候近く雨量を齎すべき模樣なる故若し近き内に二三十粍以上の降雨を見る事を得るに於ては元來麥は穗出しつゝ生育をなす一の特長を以て或る程度迄は生育するものなり故に一般の豫想したるが如く不作を招ぐが如きは萬々なかるべく從來の實成績に徵すれば麥は出穗後成熟期に於ける濕土の多少に依り豫て能く作況を左右する事多くあり故に目下の作況を以て將來を豫想するは少しく早計に失するの感あり先づ今日の狀態より豫想すれば少くも平年作以上の收穫を得るに敢て難事にあらずと慶北道某氏は語り居れり

◎燒酎株式會社(平壤)

齋藤久太郎、九鬼榮助、前田九一郎、李圭丹、朴泰旭、松崎久、夏目國太郎、李鎭泰氏等の發企に係る五十萬圓出資の朝鮮燒酎株式會社は三月十一日其筋に認可出願中のところ愈々四月廿九日附を以て認可せられたり

◎木浦麗水航路(木浦)

木浦麗水間朝郵航路就航船順天丸は入渠の爲め近く釜山へ同航すべく此間代船として金海丸(二百二十噸)五日の航海より就航すべしと

◎銀行再出願(木浦)

木浦に於ける山大池啟助氏及び全南海南有力者等を網羅したる資本金廿五萬圓の南鮮銀行は書類に不備の點あり一旦發起人へ却下せられしが最近之れを更正し再び出願したりと

◎怪火と其後

探究の餘地あり

大連埠頭一角の豆火の影響は遂に滿洲金融動脈を閉止せしめ延ひて滿洲の生命たる特產物は今やその活動機能を失ひその波動は單に關係當業者間に止まらず滿洲經濟界に一大恐慌を投じぬ而して事態斯くの事の保險會社及び銀行團の措置は至當にして最早此方面に活路を求むる事絕望なるべく斯なる以上は普通の營業組織を以てする機關に據り活路を得るを不可能なるべく殘る處は此問題に最も重責ある滿鐵に於いて埠頭堆積特產物に對し如何なる形式かに於いて一の保障を與へ之れに依り銀行業者より金融の途を得て當面の急を救ふ外あらざるべし若し滿鐵に於いて此方途に出づるあらばそは單に關係當業者の苦境を救ふに止まらず滿鐵自身の苦痛とする處なるのみならず之れに因りて滿洲經濟界に恐慌を止に因る特產物輸送杜絕は滿鐵の與ふる如きは滿鐵本來の使命上之に堪へ難しとする處なるべしこは關係當業者が此の難關切破の活路を獲んと連日に亘り有らゆる智能を絞りて案出せる考慮其の者に外ならざるなきか、それは兎も角斯かる事態を惹起せしめしは實に彼の怪火なるがあれが滿洲全體に亘りて起る事件なれば兎に角如何に區域とは云へ埠頭構内に局限せられあるわ禍因探究に就て未だ施すべき手段方法の餘地多々あるを思はざるを得ざるなり(大連)

商況

東京現株中値

◎五日中値

銘柄	中値
東洋拓殖	八〇、〇〇
同新株	……
朝鮮銀行	一七六、五〇
同新株	……
南滿鐵道	五九、〇〇
第一新株	一二〇、〇〇
第二新株	八一、五〇
京城電氣	五四、五〇
同新株	一九、五〇
南滿製糖	一二五、〇〇
朝鮮瓦斯	一一八、五〇
大阪商船	一五六、〇〇
同新株	一〇八、〇〇
日本郵船	二二六、五〇
同新株	一一五、五〇
鐘淵紡績	三二八、〇〇
同新株	三〇四、五〇
東京株式	二四二、〇〇
同新株	二三八、〇〇
朝鮮興業	……
寶田石油	一〇八、〇〇
同新株	……
横濱取引	五〇、五〇

東京株式特電

◎五日後場引値

銘柄	引値
東京株式	三三九、一〇
同新株	二三九、一〇
大阪商船	一四三、五〇
同新株	一一三、〇〇
日本郵船	二三四、二〇
同新株	一四四、八〇
東洋汽船	八〇、七〇
同新株	九九、六〇
鐘淵紡績	二四四、〇〇
同新株	二二六、八〇
東洋紡績	三一一、一〇
同新株	二三一、三〇
富士紡績	……
同新株	……
南滿製糖	……
寶田石油	……
同新株	五〇、八〇
横濱取引所	一三二、四〇
新高製糖	……
北海炭礦	一三九、七〇
同新株	一三六、四〇
南滿鐵道	……
第一新株	一三三、〇〇
第二新株	八九、八〇
東洋拓殖	八〇、三〇
同新株	三七、九〇

東京期米同電

大阪株式特電

◎五日後場引値

大阪三品特電

大阪期米特電

神戸期米特電

下關月末特電

京城現株標準値

雜報

正米下落ぶり

外米格付の悲觀と仕入關係に買ひ急ぎたる期米市場も其後軟化し人氣一轉し大阪市場も三十二圓臺に張り西南市場共に五六十錢

二十錢前後の引

弛

綿布益好調

罐詰筍昂騰

狼狽投

容器罐材の反

晒金巾

九十三四圓

次第高

撥

以下は賣應難

九十錢

白米底堅し

採算不充分

三十九圓

鋼材不活潑

八十錢

殆ど持合の狀

足袋は混沌

潤澤

一般に手控

眼先見當不明

分蜜は昂進

精糖

赤糖

淺草海苔保合

品質不良

下關相場

京城正米市場

錢安

南大門廻米

釜山正米

安

生魚市場

青物市場

仁川正米市場

先高見越に賣

内鮮共に正

米の形勢は定期

割下濫

外米格付

存外合格品の多

材料

内地米信

北濱だより

稍や草臥る

仲買店　仁川米豆取引所仲買人

剰　仲買店　仁川米豆取引所仲買人

◎仲買店　今村覺次郎　仁川米豆取引所仲買人　仁川海岸町三丁目

株式會社仁川米豆取引所仲買人　上高田仲買店　仁川海岸町三丁目　電話長一〇八

膠ゼラチン販賣廣告
今般朝鮮皮革株式會社ノ製膠事業一切ヲ當社ニ繼承シ京城本店ニ於テ製品ノ御需要ニ應スヘク見本御入用ノ節ハ何時ニテモ差上可申候間多少ニ拘ラズ御用命ノ程願上候
朝鮮京城府南大門通四丁目貳拾貳番地
東洋畜產興業株式會社

◎旅行中ノ處歸鮮ス
京城太平通二ノ三六・電話長一八三
釜山日報支局前
京城分析所主
京城明治町二ノ九二・電話長一七七
支那領事館前通
田部分析所主

五月七日　皇太子殿下御成年式奉祝の爲謹而臨時休業仕候
株式會社朝鮮殖產銀行仁川支店

◎男工募集
靴職工及見習工募集
年齡拾六七歲以上二十七八歲迄　日鮮人五拾名以上
右希望者は至急左記へ御來談被下度候
京城本町一丁目二六　高木靴店
京城本町二丁目七　高木靴工場

奉祝御成年式
京城黃金町二丁目
太平生命保險株式會社
京城支部
電話長一四〇二番

奉祝御成年式
京城黃金町二丁目
明治公債株式會社朝鮮支部
支部長　王田住人
電話一九〇八番

奉祝御成年式
京城黃金町二丁目
日清生命保險株式會社
朝鮮支社
支社長　横田瀧三郎
電話長一四九六番

奉祝御成年式
京城太平通貳丁目四〇
土木建築請負
多田順三郎
電話三一九番

奉祝御成年式
京城黃金町貳丁目・電話長二三二番
日華生命保險株式會社朝鮮支部
支部長　水沼千鶴

奉祝御成年式
米穀豆粕油木材
滿鮮特產物取扱
安東縣新市街
三河商會
電話二八番　電略ミ又はミカワ

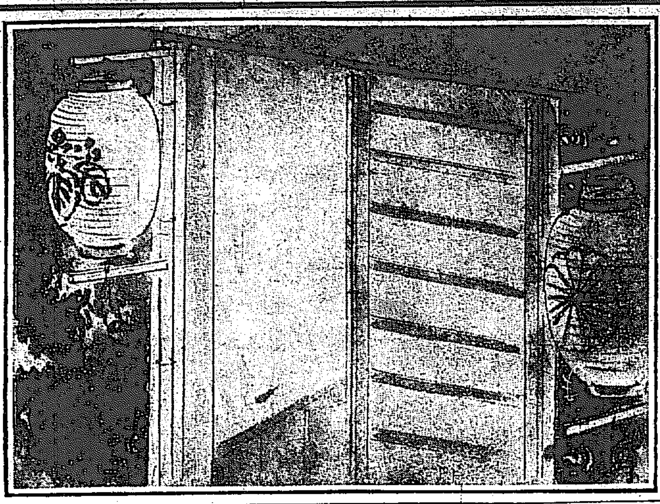
奉祝
銘酒天賞　多賀正宗
字治若松　一小
純良精白米　銘茶　卸小賣
石原商會主　石原磯次郎
新町山三角公園前
石原商會釀造部
電話八〇、〇三二番　電略(イ)又ハ(イン)
同三丘園茶店
同精米部

日本名刀傳　冊八

東京　田邊南龍講演

伊勢太郎正俊　（三二）

禁裏御番鍛冶となりますれば、一年に一度は京へ上つて御用をも承はらねばなりません、正俊は元より伊勢の多度津へ歸るべき筈でありますが、當人の望みにて、まだ二三年は鎌倉稲村ヶ崎の宅に居ることになりましたが、禁裏御番鍛冶となれば玄關に菊桐の御紋章附いたる高張提灯を立ることを許されますので、正俊の家にも燦然と此の高張提灯が立て居ますので、家門の譽はどの位だか知れません、往來の者も自然頭を下げて通ります、正俊が歸つてから丁度三日目雪の下から貞宗夫婦がやつて來まして　貞『さて正俊や、お前も大業が成就して御番鍛冶にもなつたから、豫ての約束通りきたねを嫁つて呉れ、彼女も今迄待つて居たのだから……』正『ハイ、不束の私を夫程迄に有仰つて下さるのは、何とも有難いことでございますが、實は國廣の一件でございます、せめて一週忌でも經ちましたら、改めて申上げますから夫迄どうか御待ちなすつて下さいまし　貞『成程言はれて見れば是非も無いこと、夫れでは立戻つてきたねにも申しませう』と一日千秋の思ひで待つて居りまするきたねを諭して薮蔭へ待つことになつたので、きたねはもどかしくても仕方が無い、すると夫れから三十日程經ちました或晩正俊が仕事場から戻つて風呂を浴び座敷へ這入つて休息して居ると、弟子が　弟『先生、お客様でございます　正『誰方が入らしやつた　弟『何だか赤兒を連れた若い女房さんが先生に遇ひたいと被仰います　正『ウム、左樣か、兎に角座敷へお通し申せ』何人であらうと衣類を改めて待つてゐると、やがて次の間へ若い女房が參つて赤兒を抱いて下俯向いてゐる　正『是れはお出なさいまし、私が正俊、誰方様でございます　女『ハイ、正俊先生でございますか、妾は鎌倉在の百姓源右衛門の娘さよと申しまする　正『ハイ、して御用は……』女はワッと泣き出して顔を上げず、不思議に思つて居りまするこ、稍あつて涙を拭ひ　女『妾は貴方のお伴をして水口の手前、市場村で非業の最後を遂げました國廣の女房でございます　正『ハテ、國廣の女房さんとは……』女『まだ弘めを致しませんから御存知の無いのは御尤もでございますが、御用が濟んで歸つて來たら、改めて世間へ弘めをすると國廣が申して居りました、日蔭者同樣の妾ではございますが、何よりの證據は是れなる小供でございます、國廣に瓜二つ能く似て居ります、貴方様がお歸りになりました時分には、丁度臨月で一室に這入つた限り身動きさへも出來ませんでしたが、其中に生れましたのが此の兒、國廣の廣を取りまして廣太郎と名付けました、國廣の死にましたことを兩親は早くから風の便りで知つて居りましたが、妾には産後もしものことがあつてはと今迄知らさずに居りましたが、もう産所も離れ身體も肥立つて來ましたので漸く明かして呉れましたので、思ひ切つて此處へ伺ひました。是れが夫國廣から妾に呉れました手紙、妊娠中故身許を大事にせよと云ふ文句でございます、どうか御覽下さいまし』正俊は吃驚して暫く小供とおさよの顔を瞶詰て居りましたが、やがて取上げた手紙、確かに國廣の筆跡に相違ございません。



▲例鮮發賣元　松の實羊羹　▲名産　明治屋

五月八日　木曜日（舊四月九日）庚申　九紫　暗劍殺　西北　▲赤口　▲奎　▲たひら

- 九紫▲兎角に迂遠のことある日
- 一白▲深入りせば迷惑あるべし
- 二黑▲面白く物事のテキパキ運ぶ日なり驕りを愼めば更に可なり
- 三碧▲一氣呵成にやれば物ごとの調ふ日なり殊に金錢上の事に吉
- 四緑▲迷はずに兎に角進んで見るが好からん或は案外成功すべし
- 五黄▲趣味のある日にて思つたより早く纏りがつけ得　妄進は不可
- 六白▲ちよつと決心に迷ふ日
- 七赤▲剛に合はぬことのある日
- 八白▲月上の引立あるやも知れざれど傲慢なれば吉運を逸すべし

胃がんかく
病にて種々の手當も効なく困難の方又は胃がんの徴候ある様に思ふ方は悲觀する勿れ効能正しき良藥あり往復葉書で申込あれ詳報す　兵庫縣明石西魚町　元木眞一

中風病全快謝告
余は元大阪府教員たるが數年前より風に罹り醫藥効なく到底不治の難病と斷念せしに兵庫縣明石町加古忠兵衛氏に發見せる中風の妙藥を得て全治し感謝の余り同病者の爲め此廣告を出し無代頒布の承諾を得たり　大阪府中河内郡堅下村大縣　駒本茂

りん病　消渇
困る方切手三錢送れ多年の慢性にても自宅で秘密に治す妙藥を人助けに無代お教へ致します　[illegible]　武藤亀吉

かぜに一ぷく　キナピリン
ねつに一ぷく　キナピリン
効驗忽ち現はる
（價十錢、廿錢、卅錢、五十錢、一圓）
大阪、東京　本舗　高橋盛大堂藥局
●至る所の藥店に販賣す

牛乳　御用　病院成舘ホテル
京城東四軒町　岡野牧場　電話一六〇九番

演藝案内

有樂館　[illegible]　嗚呼鈴木梭長　凸坊を氣銃の卷　全三卷　ユニヴァーサル週報　有樂館

黄金館　五月六日より　電話（晝間）二二六六（夜間）二六二七　花になるまで　五卷　悲劇　[illegible]

大正館　電話八七三　本五月三日より　爆彈時計　五千呎　金谷五郎　全三卷　子煩悩　全七卷　細川血達磨　全五卷　隼（はやぶさ）　全五卷　花いばら　全五卷

壽座　電話五七八　時代家明女優合同一座　新派大悲劇　狂い咲二場　新らしい親二場　谷川の水二場　友人十九場　吉野山一場　[illegible]

浪花館　京城明治町　電話二六三〇　京山春駒浪花節一座　京山春日、京山大海、吉田壽丸、京山春駒、浪花家虎丸　[illegible]

支部長募集
大阪・月報　百圓給與　有益なる各種販賣法の文明的販賣法を採用し規則書並に帝國教育學會　[illegible]

三好式搾水機
最新發明液体搾機械
製造發賣元　大阪東區谷町四丁目　三好信造
特約店　合名會社　千代田洋行

淋病患者の福音

新藥エルモールの發見　富士製藥會社の名譽

[illegible]

東京神田小川町二八　富士製藥株式會社　振替東京三一八八〇番

法人登記公告

[illegible]　京城地方法院横城出張所

入札

[illegible]　朝鮮軍經理部

法人登記公告

一、平澤金融組合　[illegible]　京城地方法院平澤出張所

第壹期營業報告

自大正七年九月二十九日至同八年三月三十一日

〇貸借對照表

負債ノ部

株金　[illegible]　積立金　[illegible]　當期利益金　[illegible]　合計　[illegible]

資産ノ部

未拂込株金　[illegible]　土地建物　[illegible]　什器器具　[illegible]　創業費　[illegible]　出張所　[illegible]　現金　[illegible]　合計　[illegible]

〇損益計算

[illegible]

大正八年五月
朝鮮澱粉株式會社

取締役社長　安藤爲司
專務取締役　熱田謹治
取締役　北村熊吉
取締役　吉田秀次郎
取締役　安藤金司
右精査ヲ遂ゲ其正確ナルコトヲ證ス
監査役　酒井宮吉
監査役　松江久次郎

知味停車　聞香下馬　大建　醸酎

金儲は何んでもないもんだ　益々成功

第二回成績發表
金壹千〇六拾七圓を獲得し配當せり
金八百八拾壹圓を獲得し配當せり
金六百四拾壹圓を獲得し配當せり
金貳百六拾九圓を獲得し配當せり
金壹百七拾壹圓を獲得し配當せり

本會は全國各會員諸氏と共に右の如き好成績を得し事を此に賀する次第に有之候

出來た！出來た！一大發見！！
弱氣でもなく強氣でもない只高低さへすれば儲かる不思議な秘法
元金百圓で月百圓儲かる百圓が一年四拾萬圓以上になる安全確實なる利殖法公開

株米　全勝會

如斯公言は今日迄天下恐らくなからん他の雜誌者の發酵を計ること共に是等失敗者を救濟するの目的の爲め茲に設立す
加盟金一口百圓半口五拾圓（申込要急）
有價證券賣買金融及信託業
大阪市北區堂島濱通一丁目四八　明治商會
電話北一〇六七番　振替大阪二八五六九番

金を儲けたい人は金儲をさしてあげます

トタン平板　象印シヨベル　新荷著
和洋金物商　京城本町三丁目　佐藤半次郎商店

釀造高　五千石
品質醇良
天下唯一
齋藤酒造合名會社

大阪海上火災保險株式會社
東京山本火災保險株式會社
國光印石油販賣イ［ンキ各色］
名會社つちや足袋及いろは足袋
豊國火災保險株式會社
第一生命保險相互會社
蓬萊生命保險相互會社
貿易雜貨商　京城代理店
京城本町三丁目　藤富國太郎商店
電話三〇八番　振替京城一七七八番

最上醤油
朝鮮仁川
高杉醤油醸造場

優良化粧用
アカシヤ石鹸
SOAP　ACACIA
大連　萬玉洋行

京城永樂町二丁目（商品陳列館裏門通）
入院隨意
酒井婦人病院
酒井一郎
電話一六〇〇番　一八番

金物、油、石炭、煉炭、材木、青竹、セメント、土管、耐火煉瓦、各種長水、院無煙炭
株式會社　中村組平壤支店　平壤本町　電話長五〇一番四一

水道用器具、鐵管、水道工事一式、製作並に修理　諸機械
株式會社　中村組鐵工所　平壤柳町　電話長六〇三

煉瓦、赤煉瓦、火煉瓦、各種土管、シャモツト
株式會社　中村組煉瓦製造所　平壤樋口町　電話長一二五

大阪商船出帆

（仁川出帆）
大阪行　安東丸　五月七日　正午出
薩摩丸　五月十一日　正午出
（元山出帆）
浦潮行　安平丸　五月十三日　後十二時
釜山、門司、宇品、神戸、大阪行　宮島丸　五月七日　後九時出
（大連出帆）
上海、基隆、打狗行　佐渡丸　五月六日　前六時出
湖北丸　五月廿四日　後六時出
南米行　毎月一回　北米行　毎月一回
濠洲行　一年四回　南洋行　毎月一回
内地各港出帆主要航路
[illegible]

日本郵船出帆

（仁川）
大連、天津、牛莊行
新潟丸　四月　日正午出帆
高砂丸　四月　日正午出帆
[illegible]

互光商會汽船出廣告

第三互光丸　元山、西湖、城津、清津行　五月七日元山發
釜山、門司、宇品、神戸、大阪行　五月七日釜山發
第三互光丸　四月　日元山發
大池回漕部　元山　山口回漕店

朝鮮郵船出帆

▲敦賀行（清津、城津、元山經由）[illegible]
▲浦汐行（大阪發、門司、釜山、元山、城津）
立神丸　五月七日　元山發
平壤丸　五月十日　釜山發
▲雄基行（關門發、釜山、各港經由）
雄基丸　五月六日　釜山發
忠清丸　五月九日　元山發
▲元山雄基線（元山起點各港經由雄基）
鏡城丸　五月十四日　元山發
▲大阪行（關門經由）
越後丸　五月十七日　元山發
▲關門行
京畿丸　五月十五日　釜山發
×成鏡丸　五月十二日　元山發
▲濟州島行（釜山發浦項及各地經由）
昌德丸　五月十一日　釜山發
▲濟州島行
昌平丸　五月八日　釜山發
▲濟州島行（木浦發）
木浦、麗水線
慶興丸　五月十七日　木浦發
公州丸　五月十五日
▲釜山、麗水間往復
順天丸　五月十一日　木浦發
▲多島海行
慶興丸　五月十二日　木浦發
▲木浦行
江田島丸　五月十二日　仁川發
▲海州行
仁川丸　五月八日　仁川發
▲鎭南浦行
晉州丸　五月八日　仁川發
▲大連、青島行
江原丸　五月四日　仁川發

〇本社　京城南大門通　電話二三一〇
釜山支店　釜山埠頭通　元山支店　元山
仁川出張所　仁川港町
木浦代理店　山野回漕部
京城取扱店　松原運送店
其他各港地ニ荷客取扱店

尼崎汽船出帆

（仁川出帆）
赤城丸　四月　日後四時出
第二運輸丸　四月　日後四時出
御代丸　四月　日後四時出
秀吉丸　四月　日後四時出
君か代丸　四月　日後四時出
仁川海岸通一丁目　高杉商店

共同汽船出帆

（仁川出帆）
芝罘大連行　第二共同丸　五月　日正午出帆
青島直行　第十一共同丸　五月八日午前出帆
大連直行　第六共同丸　五月九日午前出帆
第三共同丸　第十二共同丸
大連にて青島行定期船に接續
仁川代理店　野口商會
元山代理店　田口
京城取次店　河村運送店

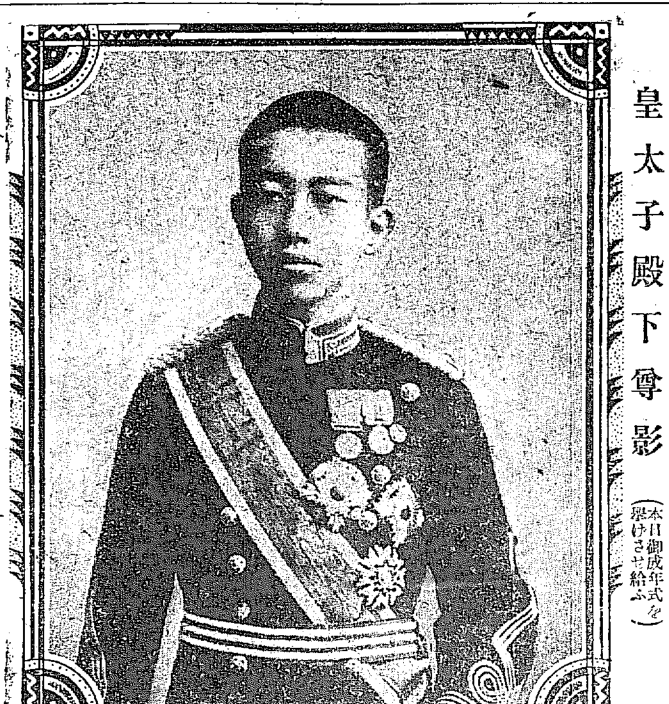
奉祝御成年式

京城日報
第五版
發行兼編輯人 鬼山 ……
印刷人 小川三 ……
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社

皇太子殿下御成年式を祝し奉る

大正八年四月廿九日、皇太子殿下御成年に達せられ、越ねて五月七日、同典を擧げ式禮を行はせらる。微臣等謹で草莽に在りと雖も、此吉辰に際し歡欣誠喜拤舞欣躍の至りに堪へず。謹みて惟ふに皇太子殿下天資英明、儀表俊邁、繼聖の位に居り、重光の德を輝かし、大孝をのべて範を億兆に垂れ、軍務を躬らして獻を祖宗に承け給ひ、帝王の器宇夙に成り、臨撫の資督既に備はる。萬世一系の皇統是に於て益々昌へ、天壤無窮の國祚、將來愈々隆なり。今や加冠元服の御年歯に達し、帝國憲法及皇室典範の定むる所に依り、諸般の諸儀を執らせ賜ふに至る、洵に我國家の福祉、普天率土、孰れか其慶に預らざるものあらんや。

此の慶賀すべき御式典の執行せらるゝの日に當り、吾人窃に朝鮮新附の同胞に念ひんと欲するものあり、他なし、世界各邦に於ける帝室の式典を見るに、大抵之れに關與せざるの狀あるも、日本帝國に於ける皇室の御式典は、即ち國家の式典にして、之れに對する國民の誠意は常に九重の高きに即ち上ぐるを恒と爲す。是れ吾邦に卓絶せる國體に由るものにして、他に類例を見ざる所なりとす。即ち今般の皇太子殿下御成年式の如き、他邦に在りては或は其の帝室の一行事たるも知るべからざるも、日本帝國に於ては、國家の大典、億兆の齊しく祝賀しまつる所にして、國體の精華は又茲に顯揚されざるべからず。新附の同胞或は此の大義に昧き者あらんことを恐れ、奉祝の辭に併せ、聊か、婆心を布くと云爾。



皇太子殿下尊影
(本日御成年式を擧げさせ給ふ)

御成年式の來歴
冠するを以て成人の表と爲す

皇太子は、……以て御成年に達せられ一般の臣民に於ては明治九年民法上の丁年を定め滿二十年と規定したる以來之を成年期と爲し、私人の

能力此に至りて

完全するものとせらる。然れども天皇及儲嗣たる皇子皇孫は祖宗神器の重きに當り、又將に其の重きに任ぜられむとするを、卓越特立の地位に在らせらるゝを以て固より尋常通法に拘るべきに非ず。即ち爲に特別の規定を設け『天皇及ヒ皇太子皇太孫ハ滿十八年ヲ以テ成年トス』(皇室典範第十三條)と定められたり。故に皇太子皇太孫以外の皇族に於かせられては通則の如く、滿二十年を以て御成年と定めらる、此の例ある所以のものは、蓋し大政の運行には、近く輔弼の重臣あり、以下各種の機關あるを以て、之を攬せらるゝには成るべく攝政を置かずして、天皇之を親らせられむことを希望し又萬已むを得ずして

攝政を置かる

場合にも成るべく皇太子、皇太孫をして之に任ぜしめられむが爲なるべしと拜察す。皇太子御成年に達せられたる時は皇室成年式令に依り、御成年式を行はせらる、勿論此の儀式ありて始めて御成年に達せられたるにあらず、儀式は御成年を外形に表明するものたるのみ、其御式は皇太子御成年に達せられたる當日、皇室成年式令附式の定むる所に依り、賢所大前に於て之を行はせらる。但し事故ある時は勅許を經て其期日を延ぶることを得るものとす。尚皇太子御成年式を行ふ期日は宮内大臣之を公告し、式を行ふの當日、之を賢所、皇靈殿、神殿に奉告あらせられ式

皇靈殿神殿に謁

訖りたる時は皇太子は皇靈殿、神殿に謁せられ尋いで天皇、皇后並に太皇太后、皇太后に朝見あらせられ、尚宮中に於ては饗宴を賜ふの事あり。之に伴ふ各種の儀禮は皇室成年式附式第二編皇太子成年式に詳かなれば茲に之を省く。古は冠するを以て成人の表と爲す。之を元服と謂ひ、其式を冠禮と謂ふ、冠禮の事冊に見わたるは聖德太子傳暦に『太子十九歳ニシテ崇峻天皇ノ朝ニ冠シ給フ』とあるを以て始とす。其國史に見たるは元明天皇が皇太子にして元服を加へ給ひしを載せたるを以て始とす。元服を行ふの年齡は古來一定せずと雖も舊來天皇は十一歳より十五歳迄を限とし皇太子は十一歳より十七歳迄の間に於て行はせらるゝの制たり

日嗣の御子の義

皇太子の事を述ぶるには、先づ皇位の事から說かねばならぬ。皇位は天照大神の定めたまふたもので、ある天照大神は天つ日の大神とたゝへ奉るに依つて皇位を天つ日嗣といふ。これ天つ日の大神の定められたる御位を嗣々に受けたまひて、その位に上りたまふ義である。即ちこの御位は天壤無窮に定まつて動かぬものである。皇太子はこの御位を受嗣ぎたまふ御子といふので、國語にひつぎのみ子と申すのである。この語は天つ日嗣の御位からいふもので、現天皇の御子といふ義ではない。併し事實に於て、現天皇の御子がその御位を繼がれるから、ひつぎのみ子、即ち皇太子は、現天皇の御子といふことゝなる。この詞の意義は後までも存して現天皇の皇子でなくても太子と記した場合が處々に見ゆる。たとへば『日本紀』足仲彦天皇(仲哀)は日本武尊の第二子、稚足彦天皇(成務)四十八年立爲太子とある、これ叔姪の御間である、又『續日本紀』に聖武淳仁の御間等のごとき親等よりいへば卑属親より尊属親に位を讓らせられた處にも皇太子と申してある、これ『ひつぎのみこ』といはゆる、皇位の御子といふ義から出たものである、この皇太子となつて位を繼がれる御方は第一が直系親にて承けらるゝを正法とするので、これ天照大神の『吾子孫可王之地』の大詔に基かれたるもので、子孫、曾孫、玄孫といふやうに直系に數へるので傍系に及ぶを潔しとしない、持統天皇の時繼承者の事に就て疑義が起つた、其時、葛野王が『我國家爲法也神代以來子孫相承以襲天位若兄弟相及則亂從此興(懷風藻)』と言はれたのは、能く直系親繼承の古法を說明せられたものである、併しながら御代々の事萬々已むを得ざる場合には一時の變通として、兄弟相承を行はされたこともある。又皇位繼承者は嫡出を先にし庶出を後にするが古よりの定まりである。神武天皇の御名は手研耳をさし置いて、神渟名川耳(綏靖)を立てさせられたのも即ちこの義である。又之れと同時に皇位は一系にして二三に分離することを許されぬ法である即ち皇子二人あれば之を二分し三人あれば三分にするといふやうな事は禁ぜられてある。(民間でいふ長子相續法とか總領法とかいふにや、いかよつてをる)いはゆる皇太子殿下が位に卽かるれば、その御一人に統治權があつて他の方々に國土を分封して主權を分つなどといふことは是認せられない。天智天皇の詔にある『天無二日地無二王』主王義である。一系連綿といふはたゞに御血統が續いて居るといふのではない即ち地無二王主義の根本をも含めて云ふ語である。故に統治權が私を營むために、國土を二分し二系にて國政を見たまふやうに爲しまゐらせたのは大御心の御法に背いたものである。これ學者が正閏論を唱ふる所以である。皇位は一系にして、嫡出の皇太子之を繼承せられる事になるさくてあるがその皇太子いはゆるひつぎのみこは古代に在つては天皇の敕旨のまゝに必ずしも一人に限らず、二人なり三人なり定め置かれた。かく多くを定めて皇胤御の後に順序として、皇長子場合に依つては長子を越ゆて其次子より承けられることもあるけれども『古事記傳』に上代には日嗣御子と申せるは皇子たちの中に分けて尊崇めて殊なるさまに定めたまへるものにて、其は必しも一柱には限らず、或は二柱三柱も坐しことは殊なる由ある皇子たちなりかのり(先は皇后の御腹の御兄で)くて御位は必ず其の日嗣御子の中なるぞ繼給ひける。其の證は古事記に不合尊の御子たち四柱の中に五瀬命と若御毛沼命と二柱、一崇神天皇の時、豐城命と活目命(垂仁)とを御夢に因て嗣に定めたまへるも、この二柱太子に坐すが故なり垂仁の時に天皇詔五十瓊敷命、大足彦尊曰云々とあるも、この二柱太子に坐す故なり、又神武天皇、太子は八井耳命と神沼河耳命と二柱坐す、應神の時に天皇召大山守命、大鷦鷯尊問之云々とかるもこの二柱も宇遲稚郎子と共に三柱太子たりしが故なり云々今按ずるにかく二人三人までも皇太子と定め置かせられることは畢竟皇位を大事に思召すよりの御事にし、皇長子必ず賢明といふこと保しがたい叡旨に起つたことであらう。皇位繼承者たる皇太子は此の如くなると共に男系を以てせられるが正法である。女系は萬々已むを得ざる時の御事で決して正法でない

奉祝御成年式
京城白米商組合

奉祝
京城南米倉町 (電話長一四〇六番) 今村精米所
京城蓬萊町三丁目 (電話長三四三番) 朝鮮精米株式會社
京城南米倉町 (電話長二二四番) 龍山精米所

奉祝
(イロハ順)
純人蔘精腦
八蔘寶母散 本舖
三ツカシワ人蔘水飴
京城長谷川町
朝鮮製藥合資會社
電話一一三〇九
振替京城三八一〇

奉祝御成年式
京城府漢江通十一番地 電話長一五七番
組龍山支店

奉祝
龍山驛前
東亞蠶絲株式會社
京城支店
電話龍山長一三五番

奉祝
京城府漢江通
東蠶社
電話龍山長六四一番
振替京城二三六二番

奉祝御成年式
龍山漢江通一三
大和社運送部
大和與次郎
電話一五番四〇番

奉祝御成年式
十八銀行新龍山支店
電話五五〇番
同龍山出張所
電話一八番

奉祝御成年式
〈倉庫新築落成〉
龍山金融倉庫株式會社
電話一四八番

奉祝御成年式

撫順炭
其層百三十尺以上百九十尺に亘り全層を通じて同様の性質を有せる石炭なり
其色漆黑にして光輝強く炭質硬堅なる石炭なり
揮發分に富み尤も燃付よき有煙石炭なり
灰分極めて少量にして『クリンカー』を生ずることなく燃燒十分なる石炭也、硫黄分を含むこと少きが故に汽鑵の鐵板に損傷を及ぼすこと少なき石炭なり

撫順炭は汽罐燃料用として日本產一等炭に匹敵し特に鐵道機關車及船舶焚料に適す
撫順炭は特徵として揮發分多きを以て瓦斯製造用としては最優等の石炭なり
撫順炭は一般工業用には尤も適當せり
撫順炭は著火力に富み家事用としては尤も便利適用なり

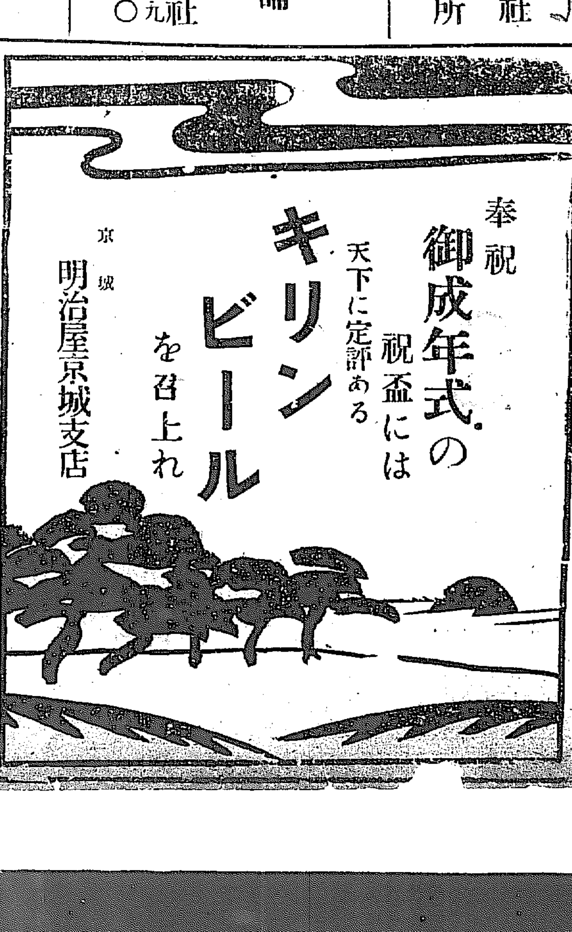
本溪湖炭
最も多くの固定炭素を含み『カーヂーフ』炭に類似せる石炭なり
適當に酸素を供給せば八千『カロリー』の强熱を發する石炭なり
適度の粘結性を有し多くの骸炭分を含める良質の石炭なり

本溪湖炭は『カーヂーフ』炭と同じく船舶焚料殊に遠洋航路に適す
本溪湖炭は鍛冶用に尤も適當し且又强く鎔鑛用に適當せり
本溪湖炭製出の骸炭は其質堅く發熱力强く鎔鑛及煉用に適當せり
本溪湖炭は尤も火持ち永く一度完全に燃付くときは本炭と等しき丈け保火し得る良炭なり

煙臺炭
半無煙の石炭なり
固定炭素量尤も多く百分中七五七四平均を有する石炭なり

煙臺炭は家事用に使用するも煤煙の患なく常に室內の清潔を保つ
煙臺炭は煉炭製造に適す
煙臺炭は一般工業用に亦適し殊に石炭窯に之を用ゆるときは其品質を優良ならしむるの特點あり

南滿洲鐵道株式會社
鑛業部販賣課出張所
京城南大門通五丁目 (電話長一七七〇番電信(テコ))
龍山京町 電話二〇三番 同貯炭場



奉祝御成年式
朝鮮郵船株式會社

奉祝御成年式
京城電氣株式會社

◇勞働法原則
講和總會議採決

國際勞働法委員會が講和條約中に挿入の目的を以て提出し巴里講和總會議の可決を得たる勞働法原則九個條は米國々務省より發表されたり右本文左の如し（華盛頓電報）

產業に從事する賃銀取勞働者の身體上、道德上、智識上、幸福なる狀態を極めて重要と認むる締盟國は此の原則を增進するために國際聯盟と共に永久的機關を組織す氣候、習慣、風習、經濟上の便宜及び產業上の因習等は各相同じからざるを以て勞働上の嚴格なる統一は忽ち困難に陷るべきも締盟國政府は原則として勞働を以て單に商品と見做さざる事を主張し且又勞働狀態を改善せんがため是等の方法及び原則は有らゆる產業社會に於て各自その特種の事情の下に能ふ限りこれを適用するに努めらるべき所のものと思惟す是等の方法及原則中下記のものは聯盟國に對し特に緊急重要なるを認む先づ（第一）勞働は單に貨物或は商品と認むべからずとする大原則（第二）傭人並に雇主が適法の目的の下に結合する權利（第三）其の時代及び其の國に於いて適當なる法令として承認さるゝ所の生活標準を維持するに適當なる賃金を其の傭人に支拂ふ事（第四）一日八時間或は一週四十八時間の制度を以て目標とすべき勞働標準とし未だ之れを採用せざる國は之を採用する事（第五）日曜日又は便宜の日に毎週一回づつ二十四時間連續とする休暇を與ふる事（第六）幼年勞働を廢止せんとする事及び青年勞働者の教育の繼續を許し且適當なる身體の發育を確保する規定を設ぐる事（第七）男女共同一價値の勞働に對し同額の報酬を受くべき原則（第八）勞働條件に就き各國其の法律を以て定めたる標準を基とし適法に其の物に從事する有らゆる勞働者の經濟上公平なる待遇に就き適當の考慮を拂ふ可き事（第九）各國の日雇者保護法令の實施を確保するため監督官制度を制定し其中に婦人監察官をも加ふ可しと

◇瑞西大統領招致

ゼネバ來電＝瑞西聯邦大統領アードル氏は緊急講和會議に招致せられ二十七日巴里に向け出發せり同大統領の招致はアドリヤチツク問題仲裁の爲めなりと稱せらる（倫敦電報）

◇獨逸の全權利
日本に引渡す
山東問題協定內容如何

三酋會議は一日の會議に於て膠州灣及山東に於ける獨逸の全權利を何等保留する處なく日本に引渡す事に決議したり一說に依れば日本は只支那が獨逸に許可したる經濟上の特權と靑島及膠州灣南方の租借地設置の權利とを保留するのみにて遂に山東省の全統治權を支那に還附すべしと本國聯合通信社所報によれば國際聯盟は支那の利益を保全し山東の全權利を支那に還附するを保證するに十分有力なるべしと尙ほ同通信社本委員は山東問題の協定の結果に滿足の意を表し右協定は事實上一千九百十五年五月二十日の日支協約の條項を有效ならしむるものなりと報道せり支那委員は講和條約中に挿入せらるべき右協定の發表さるゝ迄は新聞記者に對し同問題に關し何等の意見も發表せず膠州灣以外の鐵道所有及び其運轉保證の爲め警察隊のみを使用すべし其隊員は支那政府の任命したる日本教官を附し支那人を以て組織すべし而して出來得る限り日本軍隊を撤退せしむべしと述べたり（巴里電報）

◇巴里記念日騷擾
群衆軍隊大衝突を惹起す

五月一日は巴里に於いて例によりて勞働者の記念日を祝する爲の一大示威運動起りたるが其際軍隊と群衆との間に一大衝突を惹起するに至れり當日軍隊は群衆がコンコルド廣場に近づくを遮る爲め哨兵線を張りたるに群衆は二回まで此の哨兵線を突破したり茲に於てか消防夫は消火栓を開きホースを群集に向け之を追拂はんと努め尙ほ一方警官は棍棒を以て群集に迫り之れが爲め頭部を粉碎せられたる者多數を出せり又オペラハウスの前庭に於ける群衆は政府を倒せと絕叫し夜に入ると共に形勢益々險惡を極め騎兵隊は暴民との間に大衝突を來し多數の負傷者を出したるがユマニテー紙の主筆も亦被害者の一人なり而して巴里市參事會員及び三名の警官は短銃にて射擊せられ負傷せり（巴里電報）

◇後藤男と對露策

[illegible]

◎英國輸出緩和

[illegible]する個々の保證は四月二十九日以下（在コーペンハーゲン）[illegible]又は（二）若し上記期限に於て荷受人の[illegible]

◇巴威勞兵會沒落

伯林來電＝獨逸政府の軍隊は今や殆ど事實上ミユンヘン市を包圍せり而して飢餓と猛烈なる戰鬪の結果巴威勞兵會政府の沒落は近きにあるべし勞兵會の軍隊はフリードリヒ、スハーヘン（ウエルデンブルヒ）及び當地に於けるツエペリン飛行船製造工場を占領せんとしたるも擊退せられ多大の死傷者を生ぜり（巴里電報）

◇過派各所に出沒
我が病院に爆彈を投下す

最近に至り露國官憲の手にて過激派の本部當地にあるを發見したるも暫し彼等の行動を見るべく放任し居たるに過激派は五月一日勞働祭當日何等か畫策せるものゝ如くホルワツト暗殺未遂事件あり次いで三日チバシカ驛に突然過激派二騎爆彈を背負ひ日本病院を突擊し爆彈を投下し步哨一名を死亡せしめ尙ほ格鬪の結果一名を捕縛せり又ニコリスク東方イワノフカの過激派は目下コサツクと交戰しつゝあり（浦鹽電報）

◇西伯利電線破壞

イルクツク來電＝クラスノヤルスク、オムスク間に騷擾起り電線破壞されイルクツク、オムスク間電信不通となり且つ汽車の發着も不定となれり（哈爾賓電報）

◇北京騷擾確報
暴民夜に入りて解散

北京著情報に據れば四日午後總統府に午餐會あり當日出席せる曹汝霖氏は學生間に不穩の計畫あるを聞知し其席より急遽歸邸せり然るに一方暴徒の集團三千餘は英、米兩公使館前にて勢揃し更に曹汝霖氏方を襲ひ家人を毆打し邸宅に放火せるが午後六時鎭火せり曹氏一家は自動車にてグランド、ホテルに避難せるが茲に不幸なりしは章駐日公使にて折惡く此騷動中曹氏邸を訪問し暴徒の襲擊に遭遇し十數箇所の重傷を負ひ日華同仁病院に入院せり暴徒は夫れより前駐日公使陸宗輿氏邸に向ひたるも巡警の阻止する所となり引揚げ夜に入りて解散したる由（東京特電）

◇滿鐵理事任命

六日左の通り辭令ありたり（東京至急電報）

北大法科教授兼法制局參事官法學博士 松本烝治
農商務省參事官兼鑛山局長法學博士 片山義勝
南滿洲鐵道株式會社理事ヲ命ス

◇杉山總長著任

關東廳事務總長杉山四五郎氏は五日午後八時臭水子驛より乘替旅順に著任せり（大連特電）

◇安東申込電話

安東郵便局に申込みたる電話七十二口の中本年架設するは五十二口に決定したる旨通信管理局より通知ありたる由なるが右架設は十月頃なるべしと（安東特電）

◇深川正米低落

深川正米は定期市場軟調のため石五六十錢方の低落を見市況混沌たり（東京電報）

◇新師團歡迎會

十一日羅南にては第十九師團歡迎會を催す可し（淸津特電）

◇立神丸披露宴

日本海橫斷航路に就航する立神丸は五日釜山より淸津に入港せるが六日に同船に官民多數を招き披露宴を開けるが同船は七日淸津解纜の筈なり（淸津特電）

◎御盛典と王家
祝詞は御遠慮
國分李王職次官談

此の度の東宮殿下御成年式は國民全般と共に謹んで御慶び申上げなければならない所で是れが通常の場合であれば李王殿下にも當然御祝詞言上の御使なりとも御差遣相成る筈の所であらうけれど何を言つても只今は故李太王殿下の御喪に服して居られる事だし御祝詞の儀は一切御遠慮申上ぐることゝなつて居る甚だ恐れ多いことではあるが又已むを得ない次第と言はねばならぬ自分は一昨年李王殿下の御伴を仕て、聖上陛下に拜謁仰付けらるゝの光榮を得たが其の際東宮殿下には畏くも御座所に御成り遊ばされて居たので謁見の榮を辱うしたが重ね重ね身に餘る光榮を深く感銘申上げて居る東宮殿下には御體格の如き益々御麗しく殊の外御勇健に亙らせ給ひし御有樣であつた誠に拜察するだに御慶びの極みである。

◎祝電賀表捧呈

七日東宮御成年式當日長谷川總督、山縣政務總監は各電報にて奉祝の誠意を表し奉るべく勅奏任官は何れも賀表を取纏め捧呈すべき筈なりと

◇大連特產物救濟策
保險復活迄滿鐵より見舞金

大連埠頭野積貨物火災保險は五日正午を以て火災保險契約解除となりたるを以て滿鐵會社にては之れが善後策として在京正副社長と打合せの結果今後火災保險復活迄埠頭野積貨物の燒失に對し九割の見舞金を出し損害を補塡することゝし特產物界の危機を救濟せるが此見舞金の豫算は五百萬圓を限度とせり這は昨年中の火災損害百萬圓なりしより計算し約五箇年間の火災損害を保障せんとするものなりと（大連特電）

◎滿鐵回答
撫順炭値上に就き

京城商業會議所にては朝鮮商業會議所聯合會の名を以て過般撫順炭値上問題に關し滿鐵に陳情する所ありたるは既記の如くなるが右に對し今般滿鐵より大要左の如き回答ありたりと

朝鮮送り撫順炭賣拂値段の件歐洲戰爭勃發後滿三年迄は朝鮮各地は日本炭と朝鮮炭の競爭市場に有之且地理的關係上日本炭は主として南鮮に撫順炭は多く北鮮に供給され居候處其後內地炭況の活躍と船運賃の昂騰に依り漸次日本炭價昂騰致候得共撫順炭は市價と懸隔せる安價にて供給致し候ため自然需要著しく增加致候に最近全鮮各地に於ける諸工業の勃興による石炭の需要激增せるに拘はらず上述の理由に依り日本炭の移入益々減少し獨り安價なる撫順炭の需要愈々甚敷相成候次第に有之候然るに一方撫順炭鑛元出炭には自ら限度有之且相當採掘計畫有之候て先年來著手其設備々進捗致す筈に候得共其他方鮮內外用炭は製鐵所の需要開始鐵道輸送貨物の增加、山元諸工業の勃興等に因り急激に消費數量增加致候外近年滿洲各地並各種工業の勃興並に各港寄航船舶增加の結果撫順炭の需要激增致し著しく之等社用炭及地賣炭を需要に任せ供給致候はゞ現在採掘の撫順炭全部を以てするも尙不足を告げ朝鮮を含む輸出炭は勿論大連港口其他に於ける寄航船舶炭も一切供給杜絕の事に可相成情勢に立到り候加之昨年來滿洲沿線の一般貨物激增し各地停貨甚しく自然撫順炭も全部所要期間中に運送致すこと困難と相成炭鑛貯炭の堆積は殆んど山の如く驛に於ける滯貨も亦多量に有之候ため之が對策として滿洲內外に於ける撫順炭需要の性質を考査し輸出炭荷契約解除若くは他炭代納へ方針に出で己むを得ざる方面にも可成出炭を制限し朝鮮各地に於ける船舶炭の供給を含め滿洲線鐵道用其他社用炭各港荷役設備の許す限り日本炭及開平炭を買付補給し漸く拾五萬噸の餘裕を得之を朝鮮地賣に供給致す事に決定仕候卽ち昨年度に比し七萬噸減に有之其結果朝鮮各地經濟界に及ぼす影響極めて重大なるもの可有之此供給減少に對しては別に各港荷役力の件に限り日本炭買付け補給致度企畫罷在候最後の朝鮮に於ける撫順炭値段に就きては鮮滿の特種經濟關係に鑑み一般の時價を[illegible]

◎增派軍隊の效果
各地の住民駐在の永からん事を切望す

過般騷擾鎭撫の爲め全鮮に渉り六個大隊の軍隊增派され常時師團に配屬の兵と共に其任務に從事し居るは一般周知の事實なるが今各地警備の現況を觀察し來りたる某高官の談に依れば配置の場處は全鮮六百餘箇處の多きに達し宛然鐵網を張りたる狀況に在り而して其兵員は地方の狀況に依り同じからずして五人乃至十人屯在する處もあり、小隊又は中隊を置く處もあり一定せずと雖も給與衞生上甚だしく困難を感ずるは三里五里と中隊に離れ全く物資なき僻地に在る集團とす、地方に依りては粟を常食とする爲め

△全く米なき 處もあり牛肉豆腐味噌醬油の如きも一々中隊より配與する譯なるも運送の途に缺け居る爲め酒類其他の爲め本隊に來たる時五七日分位宛自ら背負ひ歸るなど言ふ有樣にて全く都會人の想像外に在り、今後食物の腐敗し易き氣節ともならば給與上にも衞生上にも更に一層の困難を想はざるべからず、而も其配置の效果は非常のものあり各地頗る靜穩に歸し良民皆其堵に安んじて業務に從ひつゝあるのみならず何れの地方に於ても成可く長く其駐在を懇望し居る有樣にて何れより見るも當分の內は現狀維持の外なからんと言ふ

◎表面平靜の浦鹽
露貨暴落と市況＝木村七郎氏談

最近浦鹽方面の視察をなし歸城せる木村鈴木商店次席の談に曰く浦鹽にては硬貨を之を見んとして殆ど見ること難く三月末七八百留を唱へられたる露貨は其後千一百留にもならん狀態となり更に最近にては

△千八百留 にもならん狀態にて全く混沌たる有樣なり雜貨類は日本品殊に大阪製品最も多數移入せられ露人經營の雜貨店にも店頭に之を見る狀況なるが目下は露貨暴落の爲め何れも手控の風にて此の所無見當なり右に付き當局に於ても對應策を講究中の樣なるが未だ具體的の成案なきものゝ如く內地人の小商店の中には內地に歸還せるものも少からず農產物材木等を取扱へる吾大商店にても彼地へ輸入のみにて彼地よりの輸出なき故片爲替となり決濟上困難を生ずる譯にて彼地よりの輸出あれば得るならんも左樣の譯に行かず唯幸ひ我國にて黑龍鐵道の管理を收め得たる故聊か此方面輸出を見るべく尙多きを望み難く彼の地松田銀行部の如きも露貨取引を中止せりと然るに之は自衞上止むを得ざる所ならん銀行以外に領事民會の斡旋にて露貨の定期取引を開始し仲買人も十軒位ありて限月制度にて或取引に對して保證的に賣繫ぐ等の便利あるも規模大ならずして大商店は利用する迄に至らず露貨の暴落を以上の如く甚だ敷も市中は表面より見たる所何等の不安を感ぜず最も南鮮を距てたる所々には

△强盜の出沒 せりと聞くも市中にては演劇其他の興業物も相當の賑ひを示し居れり日本人は隨分入り込みたる方なれど日本軍にして秩序維持の外に行政權を收め得らんには相當の勢力扶植をなし得たるならん當地の勢力の侮る可らざるは支那人にて彼等が三日休めば浦鹽市場にて貨物の動かざる程に殊に運搬勞力の方面には馬車、解隱は僅飯に瀕すと迄言はれ居りて等一々支那人の力を待つ如くなり浦鹽にて最も苦痛を感じたるは出國手續きの遲延する事なり出願後一週間位を要せざれば旅行免狀を下附せられず

△旅行免狀 なければ切符が買られずそれが露西亞式にて至極緩慢なるには閉口せり

◎貨物主任會議

京管局にては來る十日より全線に於ける貨物主任を招集し輸送上の問題に就き協議會を開く可しと

◎松平子披露宴

新に京城駐在となれる東拓理事松平直平子は披露のため十日は官吏軍人を十二日は實業家を朝鮮ホテルに十三日新聞通信記者を花月に招待し饗宴する由

◎芳澤參事官訪府

大使館參事官芳澤謙吉氏は六日午前總督府に山縣政務總監國分司法部長官久水外事課長を訪問せり

◎海東物產開業

海東物產株式會社は資本金三十萬圓にて成立し本月五日より營業所を京城蓬萊町一丁目に置き內外物產の輸出入賣買、委託販賣及び商品擔保貸付等を營む事となりたり

人事消息

△矢橋亮吉氏（岐阜縣濃飛農工銀行頭取）六日夜入城朝鮮ホテルへ
△大和正夫氏（北京英文公間報社員）同
△原田助氏 同夜出城

烏瞰錄

日支協約は厄介千萬な手のものであつて今度の巴里會議でも大分日本を手古摺らしたが協約締結の時でも大分手古摺らしたものだ△丁度大正四年の今月今日が日置公使が最後の通牒を陸總長に渡した日である△今日と云へば一時世界を騷がした排日的の米國を引き出して參戰に逐進めさせた問題を作つた獨逸潛航艇がルシタニア號擊沈事件を演じたのも千九百十五年の今月今日である△田尻東京市長は財政通として自他共に許して居る人であるが同君は往復端書が來る每に出來る丈け電話で答へをする△而して殘つた一枚の葉書は私用に使つて居る相だが茲迄來ると專門の應用もチト藥が利き過ぎて居る△田尻君と云へば同博士は日本の博士の元祖で明治廿一年の今月今日博士號が始めて日本に出來た時に頂いたのである△其當時の連中の顏觸れを見ると文學が加藤弘之、重野安繹、外山正一、小中村清矩、島田重禮△法學が箕作麟祥、鳩山和夫、穗積陳重、菊池武夫、田尻稻次郎△醫學が池田謙齋、橋本綱常、高木兼寬、三宅秀、大澤謙二△理學が矢田部良吉、伊藤圭介、菊池大麓、山川健次郎、長井長義△工學が松本莊一郎、古市公威、原口要、長谷川芳之助、志田林三郎君等僅に二十五名である△今之等の連中を見ると大概はあの世の國の大學教授に轉じて居る現在の諸君は定めて感慨無量であらう

◎軍司令官受賀
皇禮砲發射

七日皇太子殿下御成年式御擧行に付き宇都宮軍司令官は當日部下將官將校同相當官の祝賀を受くる由又龍山軍は禮に依り皇太子殿下の御所大前に於ける儀式の時卽ち午前九時十分定規の祝砲を放ち鎭海要港部及び重砲隊にても同時に皇禮砲を放ち同港碇泊の軍艦村雨、朝霧、白雲、朝潮は何れも滿艦飾を爲すべしと

◎電興創立披露宴

五日平壤に於いて創立總會專務米山久彌、風間鋤助の兩氏は八日夜朝鮮ホテルに官吏實業家新聞記者通信代表者を招待し創立披露宴を擧ぐる由

◎總務歡迎茶話會

京城基督教青年會總務グーリード同副總務張の兩氏は歸米の途次入京滯在中なるが京城基督教青年會にては六日午後四時より旭町なる新設俱樂部に於て歡迎茶話會を催したるが當日は總督府外事課員等の臨場あり盛會なりしと

□臨時休刊

本日は東宮殿下御成年式御擧行に付き祝意を表する爲め夕刊のみ臨時休刊す但し重要事件に就ては號外を以て報道すべし

大阪株式特電 [illegible]

大阪堂島米特電 [illegible]

下關初米時電 [illegible]

奉祝

金剛は敷島の姉妹煙として 竊し愛煙家の座右に供せらる

上等口付卷煙草

二十本入定價十錢

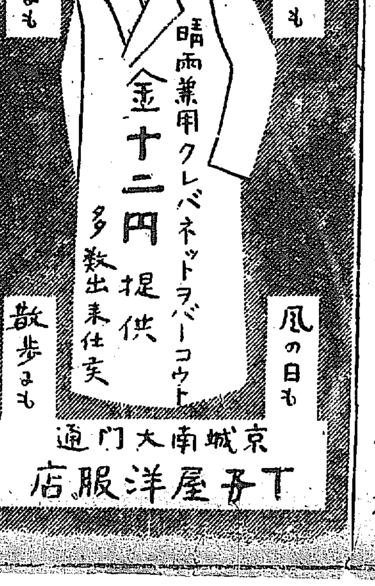
如何に品質の優良なるかを!!!

御試喫あれ……

東亞煙草株式會社

奉祝

土木建築業 間組
同 西本組
同 堀內組
同 北陸土木株式會社
同 鹿島組
同 松本組
同 荒井組
同 有馬組
同 阿川組
同 志岐組



京城南大門通
丁子屋洋服店

◎廣告

今般仁川本町四丁目七番地ニ當行支店ヲ新設シ去ル五月五日ヨリ營業開始仕候也

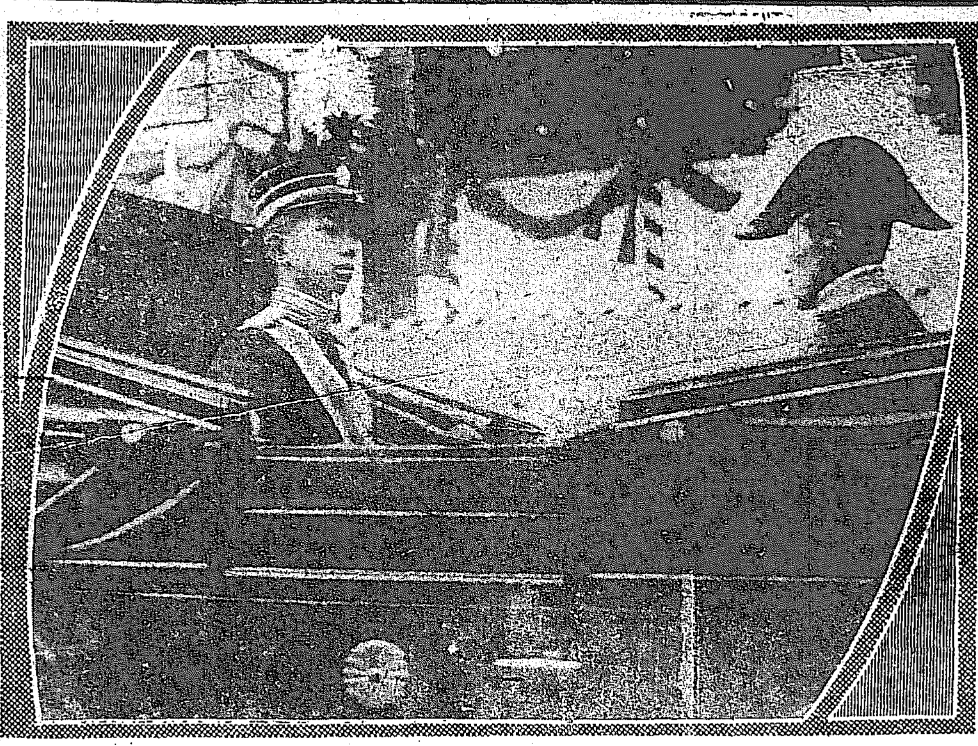
大正八年五月六日

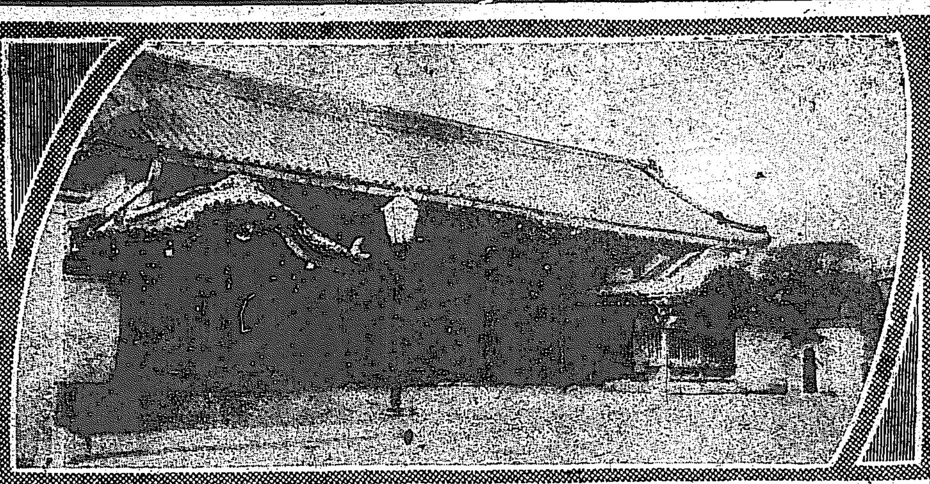
京城 株式會社 朝鮮殖產銀行

…題に關しては干渉せずとの政策より逸する事となかる可し若露國にて日本の援助を求めんか日本は滿洲に朝鮮の開發に用ゐたる政策を西伯利に應用すべしと（紐育電報）

…る事に同意したる旨商務省より發表せらる與國政府に於て輸出許可の必要條件たる再輸出に對… ランドオーバーシー、トラスト、… 瑞典行はハンチルスい コンミッシヨン、丁抹行はマーチャスツい ギ… の組合に關するものなる場合には… クリスチャニア聯合國通商委員會に宛て仕向くる事 …受けたる上荷受證券に裏書を爲すべし追つて輸出自由品には右の適用無きものとす

神戸期米特電





○莊嚴華麗の御盛典
東宮御成年式
愈々今日、雲深き九重の大奥にて執行はせらる
山河光あり地に歡聲湧く

（一）
日嗣の皇子に御かんむり
授けますなる此のあした
大内山の松ヶ枝も
緑ひとしほまさるらん

（二）
さしそふ光あふぎつゝ
行く末遠く御榮えを
千代田の宮の千代かけて
いのり奉らん諸共に

聖上陛下親しく 御冠を授け給ふ
賢所大前の御儀

九重の雲井の奥に於かせられては既報の如く七日を以て皇太子殿下御成年の御儀を行はせらる其次第に漏れ承はるに午前八時東園典次長以下賢所皇靈殿及び神殿の裝飾を修し戶田式部長官伊藤次長其他式部職員一同並に宮内高等官順次に著床し八時半芝樂長以下の奏し奉る均調たる

神樂歌につれて御扉はおもむろに開かれ御洗米御神酒の御饌は祭官の淨められたる手によりて供せらる此時九條掌典長は起立して恭しく御祝詞を朗讀し奉れば皇太子殿下の御代拜として衣冠單服の東宮侍從は謹み畏みて禮拜をなす次いで諸員一同拜禮を終るや再び神々しき神樂歌は芝樂長以下に依つて奏せられ殿扉

宛ら水を打ちしが如き靜けさの中に神樂歌の音愈々澄み渡れば神饌は順次に撤せられ御扉は音も無く閉さるかくて一同退下し是れにて奉告の御儀は訖り九時半に至りて賢所大前の御儀を行はせらる先づ文武高官有爵者優遇者及び外國交際官等朝集所に參集するや皇太子殿下には

綾綺殿に 參入あらせらる次で 天皇陛下の同綾綺殿に渡御あらせらるゝや侍從は御束帶及び黄櫨染の御袍等御服を供し次いで御手水御笏を順次に供し奉る是が終るに及び東宮侍從は闕腋袍空頂黑幘の御儀服及び御手水御笏を順次供し奉る此間に波多野宮內大臣正親町侍從長戶田式部長官始め其の他の侍從及び濱尾東宮大夫入江東宮侍從長其他の侍從も共に

衣冠單の服裝に易ため給ふて式部官の前導に依つて諸員の參進して本位に就けば芝樂長以下の樂師は恭しく神樂歌を奏し奉る此の神々しき神樂歌と共に御扉は靜かに開かれ御神饌及び御幣物は祭官に依つて供せられ畢て九條掌典長の御祝詞を奏讀し終るに及び 陛下には戶田式部長官波多野宮內大臣を前行とし侍從に劒璽を奉ぜしめ給ひて正親町侍從長始め其他の侍從及び內山侍從武官長を始め其他の侍從武官を從へ出御あらせらる各皇族殿下及び

李王世子殿下にもこもに陛下に供奉あらせられて御參入ありかくて 陛下外陣の御座に著御あらせらるれば侍從は劒璽を奉じて直ちに候す次いで皇太子殿下には濱尾東宮大夫を前行せしめ給ひ侍從をして壺切の御劒を奉ぜしめ入江侍從を從へさせ給ひつゝ參入あらせらるれば 天皇陛下には皇太子殿下に

御冠を授け給ふ九條掌典長之れを捧げ奉り皇太子殿下の外陣の御座に御著床あらせらるゝ時此の御賜冠を殿下に御傳達申し上ぐ此の時侍從は壺切の御劒を奉じて簀子に候す轉て 陛下には內陣の御座に進御あらせられて親しく賢所の大前に御祭拜あらせられ再び波多野宮內大臣戶田式部長官を前行に又侍從をして劒璽を奉ぜしめ給ひ正親町侍從長內山侍從武官長以下文武の侍從を從へさせ給ひつゝ入御あらせらる次で皇太子殿下にも內陣の御座に參進あらせられ御拜禮御告文を奏して再び供奉員を從へさせられて御退下あらせらる是れより諸員の拜禮終れば再び冴え渡る神樂歌は奏せられ御幣物御神饌は順次撤せられて御扉は徐に閉され御儀終りて一同靜かに退下す

寫眞說明 御參内途上の東宮殿下と瑞雲棚曳く東宮御所

東宮賢所御禮拜
皇靈殿神殿に謁するの儀

賢所大前の御儀に續て皇靈殿神殿に謁するの御儀を行はせらる前殿の扉は開かれ掌典神樂歌の裡に御神饌御幣物の供さるゝに及びて九條掌典長は謹みて御祝詞を奏し奉り終るや皇太子殿下には闕腋の御袍を縫腋の御袍に易めさせ給ひ濱尾大夫の前行にて壺切の御劒を侍從に奉ぜしめ給ひ入江侍從小川武官長以下侍從侍從武官を從へさせ給ひつゝ參入あらせられ內陣の御座に著御あらせらるれば侍從は帝切の御劒を奉じて外陣に候す轉て皇太子殿下御參進親しく禮拜を訖らせられ參入の砌と同樣なる供奉員を從へさせ給ひつゝ退下あらせられ芝樂長以下の樂師は又もや神樂歌を奏し奉る是れと同時に祭官は御幣物及び御神饌を順次に撤して御扉を徐に閉しまゐらす是れにて御儀式終り皇太子殿下は御休殿に入らせられ御休憩の後午後一時より朝見の御儀を行はせらる

御盃を賜ふ
朝見の御儀

天皇皇后兩陛下には御正裝御禮裝の御服もいと華やかに正殿に出御あらせらるれば戶田式部長官の前導にて御正裝の皇太子殿下には御前に參進あらせられ御慶祝なる旨に對し御禮言上あり茲に於いて 父君陛下には勅語を母君陛下には令旨を賜へば皇太子殿下には謹みて是れを受けさせられ御披の御座に著かせらる是より御臺盤は立てられ御饌御酒を供し奉る皇太子殿下先づ 兩陛下より御盃を頂戴あらせられ御箸を立てさせらるれば 陛下には靜かに入御あらせられ 殿下にも續いて退下あらせらると申す

御參內の 鹵簿 と御道筋

東宮殿下朝見御參內御道筋及び鹵簿左の如し

東宮御所正門を出で左へ左へ角鹽坂を下り三田松坂町三十二番地角右へ同町通り三田四丁目二十四番地角左へ三田四國町通赤羽橋を渡り芝山內を經て銀杏坂を下り左へ愛宕町通り倚旋院角右へ西幸町通り左へ有樂町通り左へ馬場先門跡を入り宮城

騎（馬） 儀仗兵 式部次長（馬車） 東宮大夫（馬車） 皇太子殿下
東宮 儀仗兵 東宮侍從（馬車） 東宮武官（馬車） 侍醫
式部官（馬車） 儀仗兵 …

霞ヶ關離宮の 御盛宴
十日より四日間

御成年式御擧行あらせらるゝに就き東宮職にては來る十日十一日十三日十四日の四日間に亘り霞ヶ關離宮に於て御祝宴の御催しあり第一日には各皇族殿下及び親任待遇官以上第二日には宮內勅奏任官及び東宮職東宮御學問所の御奉仕者第三日には海軍に於ける第一艦隊始め御關係者一同第四日には陸軍に於ける近衞師團始め御關係者一同にて同四日間ともに東宮殿下には御台臨あらせらるゝ御豫定なりと（東京支局）

○京城神社 奉祝祭
七日午前九時半より 嚴肅に執行

京城神社に於ては七日午前九時三十分より臨時奉祝祭を奉仕する由にて其の式次第は早日神殿其他の裝飾を行ひ定刻谷村齋主は各齋員伶人等を隨へ各參列者と共に前庭祓所に參集、修祓を受けたる後殿內所定の座に著き次いで谷村齋主昇殿和琴當播の曲譜の裡に御扉を開き奉り各齋員雅樂奏の裡に御饌を傳供すれば齋主大前に參進して祝詞を奏し終つて齋主以下各參列員順次玉串を獻り再び奏樂の間に撤饌、御扉を閉ぢ奉りて式を了る順序なるが當日は一般營業を休み參拜して皇家の隆盛を祝ひ奉り祈り奉るべきなりと

○大强盗團檢擧さる
紳士體を裝ひ拳銃を用ふ 本町、鍾路兩署の活動

騷擾事件勃發以來警務官憲が專ら同方面にのみ全力を傾倒しつゝある際に乘じ四月末來京城に各地より强盜其他の惡漢入込める形跡あり警察側に於ては早くも之を探知し警戒中の處五月に入りてより鍾路署管內にて三箇所又本町署管內に於ても一箇所の强盜被害あり其被害何れも數百圓乃至數千圓にして數人隊を組み短銃其他の兇器を使用して其の行り口決して凡ならず且其の風采の如きも脊廣其他を著し一見紳士體の者なるより兩署に於ては時を移さず大活動を開始し鍾路署に於ては五日二十餘名本町署に於ては三名を檢擧し尙續々頭領者を檢擧中なり之れ以上の詳細は未だ報道の自由を有せざるも稀代の强盜團なるが如し

軈ては東宮妃と仰がれ給ふ 良子女王殿下
姫はしくも亦神々しき御容姿 御徒歩で學習院へ

東宮裕仁親王殿下御成年式の芽出度き日にやがては東宮妃と仰ぎ奉る可き久邇宮良子女王殿下の御事ども漏れ承はるまゝに記し奉りて千秋萬歲の祝意を表し奉らんに

殿下には本年 花も羞らひ月も閉すてふ十七歲の御齡とならせ給ひ極めて見事なる御體格に嬋娟妙なる御麗質はいと神々しく拜せらる

ピアノにいと御堪能

御母宮俔子殿下よりの御訓誡は從の露の間かも御心より忘れ給ふ事もなく自彊息むなき御精神にて麴町なる一番町の新御殿に於て後閑菊野女史其他の御教育係御補導の下に專ら御學問に御精勵あらせられつゝあり御資質にして凛たる大和撫子の美質を備へさせらるゝ殿下には學習院に御通學あらせらるるに

銘仙の御召物に胸高く袴を召させられ御妹宮と御一緒に成る時には御伴に召させらるゝ事もあれ共概ねは侍女を伴なはれ御徒歩のまゝ御通學あらせらる御聰明なる御性にて各科とも拔群の御成績にて久しく侍待生と仰がれ給うた御同胞の御睦いと芽出度く御學問の間に〳〵には妹宮と共々に琴の追彈き又は御姉妹にて和歌を添へさせ給ふ歌の道は

大口鯛二氏の 指導を受させられピアノは伊東中將令孃に又琴曲は山本女史に就かせ給ひて御研究を積ませ給ひ特にピアノの御技はいと御堪能にて斯道に名を得し人々をもさく〳〵凌がせ給ふと拜承するだにいとも芽出度き極みである（東京支局）

演藝 …◇…

△喜樂館（有樂館改め） 七日より左の新寫眞を上場 △喜劇△實寫△悲劇大力角兵衛全四卷△大活劇キルソンの冒險全四卷

△黄金館 七日より成年式に付き特に第二回興行の活劇細川血達磨は好評なり

△壽座 時代家劇にて毎夜〳〵の盛況を見せつゝあり

時代家劇の花形

奉祝
南滿洲鐵道株式會社
撫順炭
特約販賣所
京城 三國商會 電話長三九〇〇・長一二一三・長一四五二・西大門四〇九 振替口座京城一二〇六番
兼二浦 平壤代理店 平松商店 電話長一六一番
京城 西村商會 電話長三〇九・三三〇番
元山代理店 小泉商店 電話四五一番

奉祝
賣行益々激增するは
サクラビール
品質優秀の證明なり

奉祝御成年式
京城本町貳丁目
貿易商 梶原末太郎
電話長三六七番

料理 金 黄金館

新派 花茨（ハナイバラ）
細川 血達磨
活劇 隼（ハヤブサ）

日本 晝夜開演

奉祝御成年式

奉祝御成年式
京城南大門通一丁目
中山洋紙店
電話一三四一番

樂器と蓄音器は
京城本町一丁目（電氣會社前）
山葉樂器蓄音器代理店
販賣元 山口樂器店
振替京城五二一五番

開業廣告
營業目録
內外國物產 輸出入貿易 委托販賣及 商品擔保 貸付業等
資本金參拾萬圓
大正八年五月五日開業
海東物產株式會社
京城府蓬來町
電話二〇四二番

（明治四十三年九月三日第三種郵便物認可）

みだれ咲き

第二十回　島山碧波作　森田久畫

操子は伯父の出宮に恐ろしい考へがあるとは夢にも知らなかつた。廣い天下に自分達姉弟に對し、其の同情を寄せて呉れるのは、此の人の外には牧野だけと思て居た。

『操子、弟も俺のやうに一人で居ればお前達に斯んな苦勞をさせずに濟んだのだ』

伯父は妻の歿後今日まで孤獨を守つて居る、操子は斯う云はれると何と返辭をして宜いのか判らなくなつた。

『兎に角、松川の話に依ると艶子さんは純然たる纖弱根性を出して居るやうだから、朝鮮へ行つた留守中を幸ひお前だけでも家出をしてしまひなさい』

彼の女としては伯父が後々を引受けると云ふ以上は直にも邸を去つて實母の許へ走り度いのであつたが彼の女として自分一人で家出と云ふことは出來無い、弟思ひの彼れはどうしても一人で邸を去ることが出來無い。

『伯父さん、私一人では邸を出ることが出來ません、弟と一緒に行く處でもありません』

ニヤリと笑つた出宮は。

『其處だ、お前の決心一ツと云ふのは』

操子の心が充分に動いたのを看した出宮は。

『體隨は男子だからどんな行動も執れる、兎に角お前は俺の家へ逃げて來なさい』

執事松川との間に如何なる議論が成立したのか、出宮は頻りと操子の家出を勸めて居た。

『有難う御座います、それでは熟く考へまして意を決しましたら何分よろしくお願ひ申します』

彼の女は伯父の言葉には心が動いた、けれども一人で家出と云ふ決心は付かなかつた、弟思ひの彼れは體隨を殘して自分のみが我家を去ると云ふ心になれなかつた。』

『さうしなさい、伯父さんはお前が今日のやうな境遇で日を送つて居るのが可哀想でしやうが無いのだから、少しも早く逃げて來るやうにしなさい』

『はい……』操子は力無く頭を垂れた。

『夫では今日は是れで歸るよ、朝邸から手紙でも來たら一寸知らせてお呉れ』

伯父に對して實母からの書面を見せやうと思つたが、そんなことをして餘計な苦勞を掛けるのは本意で無いから、操子は其のまゝ伯父を送り出してしまつた。

『熟く考へて置きなさい、身體を安全の處へ置くのが何より安心だよ』

玄關の式臺を離れやうとする出宮は、小さな聲で再び促した。

『はい……』此の時、執事の松川と伯父の間に目顔で不語の囁きが交換された、然し、そんな事に氣の付かぬ操子は伯父を送り出すと共に再び自分の部屋へ入り。

『どうしたものだらう』

頭を垂れたまゝで深い考へに落ちて居る彼の女は。

『牧野は小洒張りした扮裝をして居たと云つたが、どうやら此のお手紙ではお容の云つた通り乞食のやうな扮裝をして居らつしやつたのが本當らしい』

ホロ〳〵と散る露の玉、操子は頭を上げることが出來無かつた。

『このお手紙で見ると、其の日の御口にも差支へると書いてあるが熊に不自由なさつて居らつしやるのだらう』

再び膝の上へくり展げた實母の書面、操子は泣く音を忍んで鉛筆の痕へ眼を落して居た。

『穴八幡の境内で待つて居ると被仰るが、どうして邸を出て行つたら好いだらう』

左思右考して居る操子が、長い咳聲を洩して頭を上げた時、投げた主は誰れか判らぬが彼の女の膝許へ紙礫が轉げて來た。

『あら……』拾ひ取るのを躊躇して居ると、目と鼻の間である椽先で大きな咳拂をした者がある。

我等の俳句

○　浮碧樓

大屋根の幟吹く朝の食卓手早く

幟はためく二階の雜談にふけるもの

夫人の眼が外を藤棚の太い幹です

○　芹　郎

五月幟の家々の壁に添ひ歩まる

月下の幟竿立つ俺達何をせんや

藤い盛りの山で働く女達の姿であり

○　眞　敏

大きな幟を出して五月の空を見ぬ

藤棚すこしの庭その日が來るるぞ

水兵ら四月の藤棚をくゞつて行くのだ

○　紅　二　六

妙さん藤の房が垂れてゐて白し眞白し

○　烏　堂

幟の風が何でもなく草が捩れる

廊下の上の藤棚の青い香のする

藤垂れ女生徒の群の中の柱

（十の日句會五、五一）

日報歌壇

北　條　旭

夕陽は都に落ちて泊印の香のみ室に鳴りひびききき

○　柴　牛

降りいでし雪はやみてものたらぬこゝろにせまる黄昏のいろ

松の葉にいさゝかつみし春の雪の香もなく散る夕あらしかな

○　久讀夜詩紺

庭師の籬内にして蓮翹の花咲くこころさなれば悲しも

硝子戸をそと閉ければ入しなく蓮翹の花映りてゐたり

○

夜半に目さめ不圖手にとりし懷中時計止まりてゐるが淋しかりけり

一日の長きつとめ終へたれば外の面にいでて夜氣をすふなれ

○　淺野　博

婦草のみ頻草のみつゝ野路急ぐ遊亡の身はうらさみしけれ

慈喚の泪のひまにひらめける一つの光りに心躍るも

○　選　者

鷄の二聲三聲高啼きて淋しさめぐるこの夜長はも

小夜更けの雨の小窓に風募るその夜すからな呆け鶏啼く

ふかく深かくものなみつむる佳ゆゑに無口のわれさなりてゆくらし

□親こその子　せりた

○

母よ、父よ、

太陽よ、大地よ、

ちゝよ、はゝよ、われよ、

祈らんすれど言葉なし。

背ばんすれど祈りなし。

○

一つのかたまりが、

たへず廻る、いつまでも廻る。

消い炎がのぼる、

赤い炎があがる、

むらさきのいろよ、忘れ得ず。

（廿八年四月日）

日報柳壇

剣花坊選

紐

質屋から借りた羽織の紐が無い　鳥　石

紙捻の羽織の紐は金があり　同

更衣女房に紐の多い事　同

猿曳は紐一本の命なり　鐸　庵

文使ひ金高蒔繪赤い紐　同

紐だけを殘して掏兒の巧みなる　富　三

車坐になつて各々紐を引き　極樂坊

猿股の紐に狼狽て五分鈴　厄介坊

附紐を引かれて歩く日和下駄　紫　流

子を抱いた後で草鞋の紐を結ひ　烏　石

◇次の題（川柳）

◎招魂社

（例）ニコライを見る九段坂（剣花坊）

（大村兵部太輔銅像）

（同）婦連た大村兵部睨みつけ（久良岐）

（同）招魂社花の盛りへ道楽來る（剣花坊）

◎長者

（例）奕之輸んで長者二代無し（剣花坊）

（同）顔出盛り者の貝の大鳥居（同）

（同）横濱の四半分燒く長者町（同）

◎蚊（蚊帳でもよし）

（例）手を吹きから御宿縕（古川柳）

（同）恐る夜の蚊は叩かれて死に（同）

新刊紹介

▼東亞經濟時報（三號）　大勢動きと當局者、朝鮮綿花の現狀と將來、新任關東廳長官林權助男、支那財政の近情、今後燃料問題等（定價廿五錢發行所京城明治町一の七六其社）

▼大陸（五月號）　文化的植民政策、支那に對する文化事業、去るに臨みて、林長官に望む等あり（定價三十錢發行所大連市淡路町一八其社）

▼考へ方（五月號）　英漢數を主とせる考へ方の研究なり、中學程度の學生の好参考資料なり（定價廿五錢發行所東京市神田區神保町一三考へ方研究社）

▼實業之世界（五月號）　何ぃ爲の國際聯盟（三宅博士）人種問題と國際主義、鐵世界（吉）個人的個人主義が高潮す（鈴木太郎）洋服細民の問題（竹森生）等あり（定價廿五錢發行所東京市麹町區有樂町一の四其社）

▼養鶏と園藝（五月號）　內容は題號の如く玄人にも素人にも解まるやうに編輯されたり（定價廿錢發行所兵庫縣武庫郡鳴尾村其社）

▼實生活（五月號）　賜天下（三宅博士）明治維新の世界的意義が闡明す（鈴木代議士）スペンサーの社會有機說と個人主義（平林淑水）等あり（定價十五錢發行所東京市京橋區　買町二實生活社）

▼農業世界（五月號）　農業一般に關する各専門家の所說あり、殊に耕地問題は作研究者に讀むべき記事あり（定價廿錢發行所東京市日本橋區本町三博文館）

▼日本魂（五月號）　貴族富豪の猛省を促す（後藤武夫）偉人の出現と導き國家果板博士）探偵の眼（彥山光三郎）（定價廿錢發行所東京市京橋區瀧榴南側其社）

▼道樂世界（五月號）　定價十五錢發行所京都下京區烏丸通四入北町日本道樂世界社

▼幸福（五月號）　定價廿五錢發行所東京麹町區大手町一日本結核豫防協會

▼東洋時報（五月號）　定價五十錢東京麹町區山下町一の一東洋協會

▼大日本私立衞生會雜誌（三七號）　定價廿五錢發行所東京麹町區大手町其會

▼戰友（五月號）　定價七錢發行所東京麹町區飯川町二の五二帝國在鄕軍人會本部

▼東洋皮革新誌（一七四）　定價十五錢發行所大阪市東區淡路町二の七七其社

▼嗜好（五月號）　定價六錢發行所東京京橋區銀座二の六明治屋

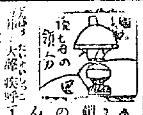
▼群馬之産業（五月號）　定價十錢發行所前橋市曲輪町二五其社

▼婦人週報（五月號）　口繪は栗島玉樹女史の美人畫、小寺健吉氏の草花果物を描ける油畫とりん〳〵に面白く、記事も頗る多種多樣なり記事には、諸名家の寄稿を始め菊池幽芳、泉鏡花、渡邊霞亭三氏の小說等あり（定價四十五錢發行所東京京橋區疊町東京社）

▼婦人界（五月號）　卷頭には志賀谷和三郎氏の『若き妻には何故煩悶が多いか』の題下に諸種の煩悶に悩める若き主婦に對し最も親切なる所說あり、三角錦婦女史の『中流生活を營む家計の標準』、富視女史の『裁縫ほどの程度まで必要か』等あり

お惣菜

◆鰤の照燒　付け合せには金柑のふくませ煮と土筆生姜を用ゐます、鰤は大きなものですから百匁許りを買つて都合よく人前を五つの切身に切つて厚さは三分位にし巾は一寸二三分丈を一寸六七分位に揃へて切り兩面に鹽をパラパラと振り掛け約一時間許り置いて次ぎに水でざつと洗ひ金串を横に打ち刺し七輪の火の起り切つて白い灰のかゝる程度になつたならば二寸位離な置いて串にさした魚を燒きます



△夜店見世又は四戸開鎖後郵便又は電報配達の際受信人が呼び起さんと配達夫が郵便又は電報受信人の住所を連呼せざるため徒らに近所の迷惑をなさしむるのみにて受信人又は電報配達夫の迷惑を知らしむるが得す依て自今は前述の配達を各家に通す様注意する事（迷惑生）△最近の再び起つたのを喜びます▲自分の新聞が何卒發表されるさうですが、早く御願ひ▲以前の選者等も發表されるさうですが、早く御願ひします▲それから御現の選者、宿題に何卒御力がられよ又で御は時々三回分位まとめて發表される方があるさうです、これは別々に發表されん事を希望します（一切望生）▲一本の商價の古々雅すなる顏く某店の如く他店で三錢か五錢の文錢雜誌を八錢又は十錢など云ふ如何なる理なりや即時改むべし（思告生）△鳴▲大平町の下水孔に足を落し込むで困つて居る人を見受けますが、また外にも下水孔の蓋の無いのがある樣な氣がする（一市民）▲短歌雜誌アララギの發行所御存じの御方が御座いましたら御一報下さい、おねへ下さいませんか顯します尚振替番號も（龍山御願ひ生）

最上醬油　日本醬油株式會社　京城出張所　電話二四五番

三ほまれ味噌

最上清酢　日本一　マルカン印

しんぞ　心臓病に効正しき他に又なし秘傳藥○往復葉書で申込あれ詳報す　播磨國明石東魚町　多聞兵吉

奉祝御成年式　營業科目　▲木材ニ對スル金融並ニ保管▲不動産並ニ有價證券ニ對スル金融▲特産物其他ニ對スル金融並ニ倉庫業　安東縣市場通六丁目四番地　安東興業株式會社　電話三四二番

奉祝御成年式　安東縣魚市場　合名會社伊佐奈商會支店　電話二一〇番

京日案内　▲申込後中途掲載中止の節は料金不返戻▲六回以上の御申込は特に勉強す▲御照會は返信附にあらざれば回答せず　普通七十錢一回前金（番外一回金二圓）

看護婦及見習至急募集　本人來談あれ　仁川宮町　松本病院

代診、看護婦並見習入用　觀水洞一四九原田太郎

適する小店を希望す何商を問はず老幼者に一九五一番

バラツク建　片山內科醫院　工場用　市內長谷川町土木建築協會內代辨

雜貨商上記ニ保證金御出願の方は履歴書及寫眞添へ一名入用

電話急賣受タシ　並京城光化門通　一四四七番　坂本

店員入用　希望者來談　京城明治町二丁目　木村屋京城支店

社員募集　製系業針織物業　京城太平通　日本青年國際組合　三阪通療膵製絲織物合資會社

募集　多少英語會話をなし相當教育を受けたる者を採用す

移轉　京城南山町一丁目十六番地　電話二八五〇番　産婆　西島ツギ

無限軌道　無限軌道販賣所

看護婦募集　京城看護婦會

恩給立替　京城府若草町郵便局前　西村商會

ほねつぎ　柔術道場

奉祝　サッポロ★ビール

奉祝御成年式　營業科目　長鬚炭及內地炭の採堀販賣　大邱府上町　日鮮鑛業株式會社大邱營業所　取締役支配人　中山春洋　大邱營業所長　中山秀生

奉祝御成年式　輸入貿易商　釜山本町　松前釜山出張所　京城明治町　松前京城出張所　大邱　松前商店　金泉本町　松前金泉出張所　大邱驛前　松前倉庫部

奉祝御成年式　營業科目　一造林、種苗木、材、肥料　一灌漑　排水　薪炭　大邱府京町一丁目　鷄林農林株式會社　電話一三一番　振替京城六四二三番

奉祝御成年式　大邱　片倉組製系工場　山十組製系工場　朝鮮製系工場

農具　蠶具　肥料　營業部　京城南大門通　製作工場　京城北米倉町　戸田春藏本店　電話長三八六番　三〇六五番

奉祝　御料理　京城黄金町三丁目　清華亭　電話八二三五番

奉祝御成年式　大倉組京城出張所

奉祝　內國通運株式會社　京城支店

奉祝　京城旭町一丁目　御料理　千代本　電話一一三五　二七七九番

奉祝　京城旭町一丁目　新千代本改　御料理　千歳　電話七〇七　二八二番

奉祝　京城本町二丁目　御料理　花月　電話五三〇七番

奉天より

◇奉天の一昨年來の景氣は每度申上候通り素晴らしきものにて候處尚ほ宅地貸下希望者非常の多數に上り居り候樣に有之候其他課前の……に比し大いに擴大充實されたる……來り……たるやに見受けられ……彌が上にも煽り立てられ候……にて有之候……其の尤なるものは昨年貸下地中……の各建築用途には……一層擴大されたるものならざるべ……の工事のみにて本工事を本年に……からざる……に要する資金は昨年に……て那邊にまで及ぶか目下の處……ご微聲を許さざるものあるやに……收支……しむら……砂からざる由なれば豈啻その間は……感にて有之候が勿論已むを得ざる……に出でたるものにして……△從つて本年の建築界は目下の狀……况より推察するに其の數の大なる……富が其れ程進み其れ程大をなした……るにあらずして……